

奥多摩町国民健康保険 第2期データヘルス計画

平成30年3月
奥多摩町

第1章 計画策定について		
1. 背景		3
2. 計画期間		3
3. 基本方針		4
4. データヘルス計画の位置づけ		4
5. 実施体制・関係者連携		4
6. データ分析		5
第2章 現状と課題把握		
1. 保険者の特性把握		6
(1) 基本情報		6
(2) 奥多摩町の国保財政の状況		7
(3) 医療費等の状況		8
(4) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況		9
① 特定健康診査		9
② 特定保健指導		11
(5) 介護保険の状況		13
(6) 主たる死因の状況		17
(7) KDBシステムデータから読み取れる奥多摩町国保の現状		19
2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)		21
3. 医療情報分析結果		23
(1) 基礎統計		23
(2) 高額レセプトの件数及び医療費		24
① 高額レセプトの件数及び割合		24
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向		25
(3) 疾病別医療費		27
① 大分類による疾病別医療費統計		27
② 中分類による疾病別医療費統計		29
4. 保健事業実施に係る分析結果		32
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析		32
(2) 特定健康診査に係る分析		33
(3) 特定保健指導に係る分析		35
(4) 健診異常値放置者に係る分析		37
(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析		39
(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析		41
(7) 受診行動適正化に係る分析		45
(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析		48
(9) 薬剤併用禁忌に係る分析		50
(10) 服薬情報に係る分析		52
5. 分析結果に基づく健康課題の把握		54
(1) 分析結果		54
(2) 分析結果に基づく課題とその対策		58

第3章 保健事業実施計画		
1. 各事業の目的と概要一覧		59
2. 各事業の実施内容と評価方法		61
(1) 特定健康診査受診勧奨事業		61
(2) 特定保健指導事業		61
(3) 糖尿病性腎症重症化予防事業		62
(4) 健診異常値放置者受診勧奨事業		63
(5) ジェネリック医薬品差額通知事業		64
第4章 その他		
1. データヘルス計画の見直し		65
(1) 評価		65
(2) 評価時期		65
2. 計画の公表・周知		65
3. 個人情報の取り扱い		66
4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項		66
中分類による疾病別医療費統計		
地区分析		
1. 大分類による疾病別医療費地区別統計		
2. 中分類による疾病別医療費地区別統計		
年度別 特定健康診査結果分析		
1. 有所見者割合		
2. 質問別回答状況		
巻末資料		
1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方		
2. 用語解説集		
3. 疾病分類表		

第1章 計画策定について

1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、区市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間と同じく、平成30年度から平成35年度の6年間とする。

■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

3. 基本方針

本データヘルス計画は、目標とする成果を達成するために、以下の基本方針で策定する。

1. 奥多摩町の国民健康保険被保険者における健康課題を確認するため、レセプトデータ及び健康診査データ等を分析し、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い、課題を明確にする。
2. 明確となった課題への対策として、費用対効果の見込める集団を特定した上で、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を計画する。
3. データヘルス計画において計画する事業には、課題に対応した明確な目標を設定する。また、この目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載する。

4. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

5. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、福祉保健課国保健康係が主体となり、保健事業の実施に当たる。

また、外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等を活用し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

6. データ分析

本データヘルス計画の策定に用いるデータは、奥多摩町の国民健康保険被保険者に係る国保データベース（KDB）システムデータ、電子レセプトデータ、健康診査データとし、奥多摩町から株式会社データホライゾンに提供し、分析を行う。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

※医療費分解技術(特許第4312757号)	レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
※傷病管理システム(特許第5203481号)	レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。
※レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)	中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース (KDB) システムデータ
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ
単年分析
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

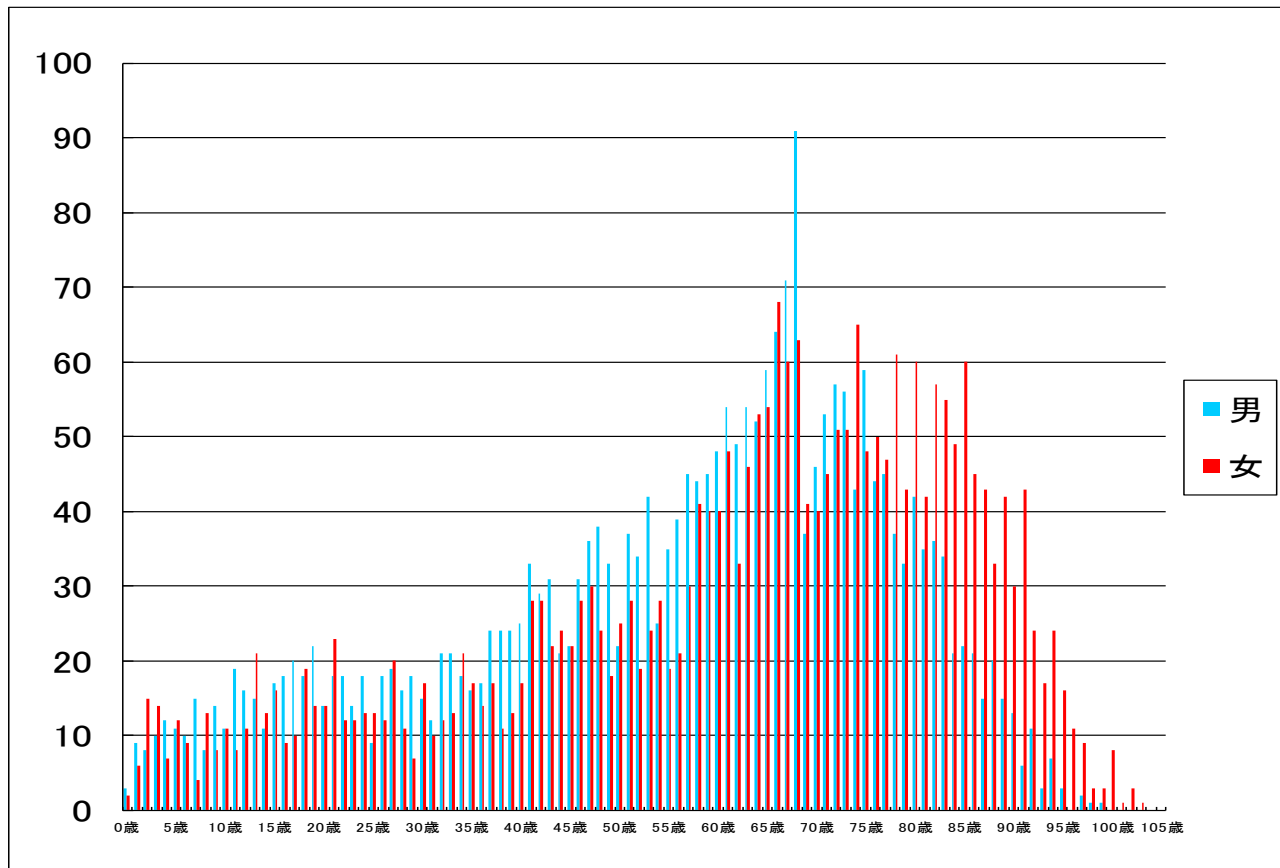
本町の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。平成28年度の高齢者数(65歳以上)は2,585人で平成26年度から35人増加している。また、国民健康保険被保険者数は1,561人で、平成26年度の1,700人から139人減少している。国民健康保険被保険者平均年齢は57.8歳である。

奥多摩町人口総数（各3月31日現在）

年度	人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	高齢化率	国保被保険者	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生数	出生率	死亡数	死亡率
26年度	5,619	2,550	45.4%	1,700	30.3%	56.6	14	0.25%	183	3.15%
27年度	5,483	2,580	47.1%	1,642	29.9%	57.3	7	0.13%	181	3.20%
28年度	5,372	2,585	48.1%	1,561	29.1%	57.8	15	0.28%	187	3.36%

出典:奥多摩町事務報告書より

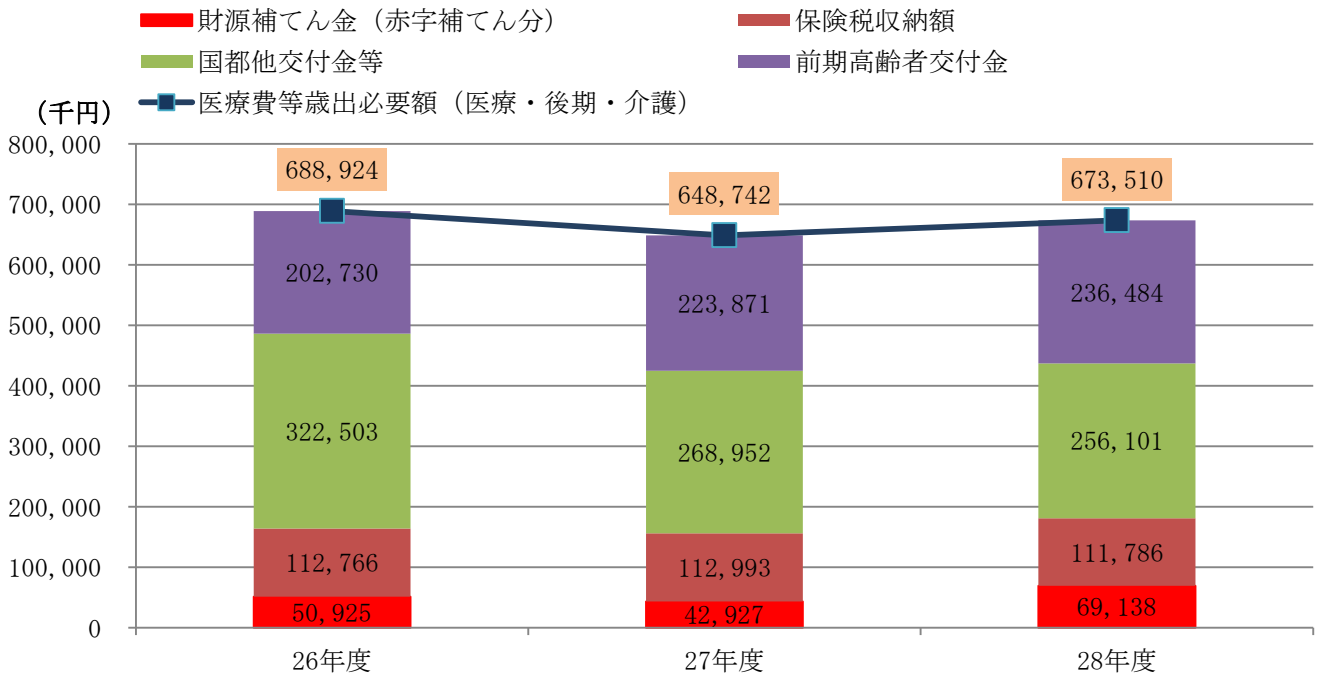
男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典:奥多摩町事務報告書より

(2) 奥多摩町の国保財政の状況

本町の平成26年度から28年度における、国民健康保険特別会計における歳入と医療費等歳出必要額の状況を以下に示す。国民健康保険は、受益者負担（保険税）5割、公費負担5割が原則だが、被保険者数が少なく所得水準も低いため、保険税収入だけでは歳出の5割を到底賄うことはできない。そのため、一般会計から毎年4,000万円の法定外繰入（赤字繰入）を行わざるを得ない状況である。



平成30年度の国民健康保険制度の改正により、区市町村の国民健康保険特別会計は、医療費の実質的な負担は無くなるが、新たに都道府県に国民健康保険事業運営のための納付金を納めることになる。納付金の金額は、各区市町村の被保険者数、所得の状況、医療費総額等を考慮して都道府県が決定することになる。

当町においては、保険税率の改定により税収入の増を図ってはいるが、平成30年度以降に早期の状況改善は見込めない。よって、一般会計からの4,000万円の繰入れの解消を目指すのであれば、保健事業の充実による医療費の増大抑制が重要になる。

(3) 医療費等の状況

本町の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	奥多摩町	都	国
千人当たり			
病院数	0.6	0.1	0.3
診療所数	5.1	2.7	3.0
病床数	27.2	27.5	46.8
医師数	3.8	9.2	9.2
外来患者数	723.8	602.2	668.1
入院患者数	22.3	13.1	18.2
受診率	746.1	615.3	686.3
一件当たり医療費(円)	39,860	32,030	35,330
一般(円)	40,320	31,970	35,270
退職(円)	23,400	36,510	37,860
外来			
外来費用の割合	60.1%	64.1%	60.1%
外来受診率	723.8	602.3	668.1
一件当たり医療費(円)	24,690	20,970	21,820
一人当たり医療費(円)	17,870	12,630	14,580
一日当たり医療費(円)	14,350	13,550	13,910
一件当たり受診回数	1.7	1.5	1.6
入院			
入院費用の割合	39.9%	35.9%	39.9%
入院率	22.3	13.1	18.2
一件当たり医療費(円)	532,630	542,540	531,780
一人当たり医療費(円)	11,870	7,080	9,670
一日当たり医療費(円)	31,570	39,770	34,030
一件当たり在院日数	16.9	13.6	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(4) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

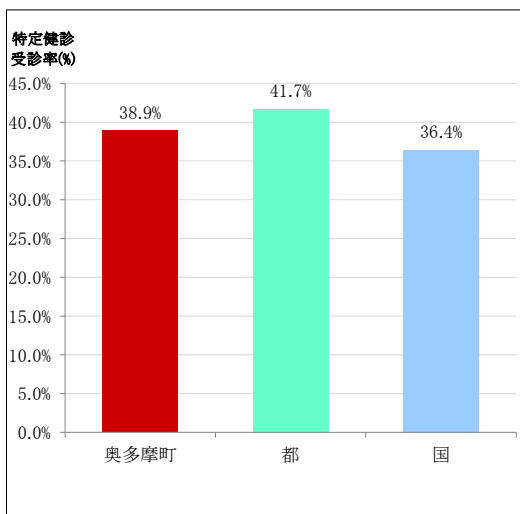
本町の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
奥多摩町	38.9%
都	41.7%
国	36.4%

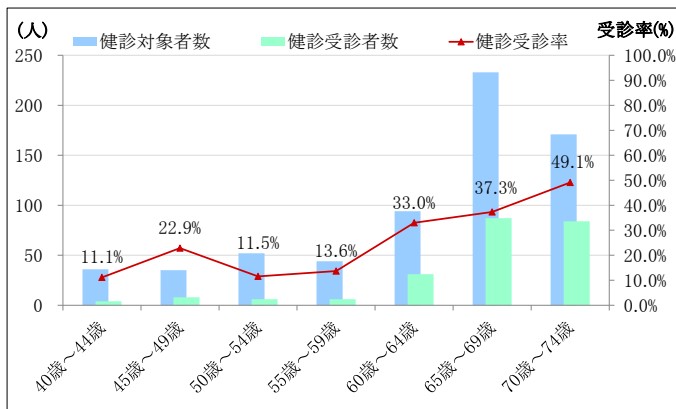
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率(平成28年度)



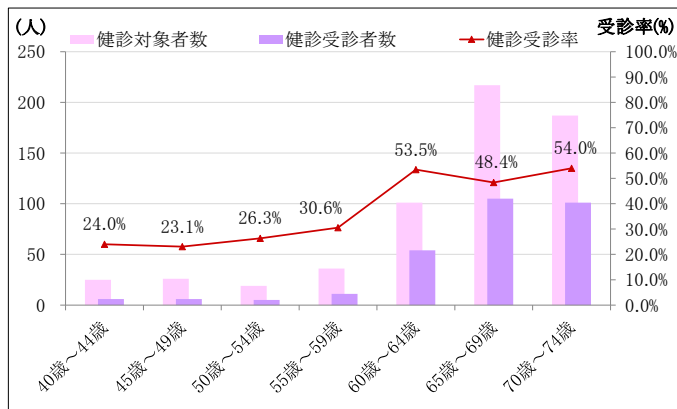
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(男性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(女性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



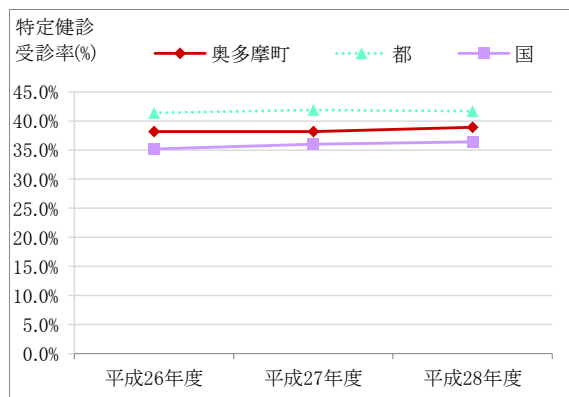
本町の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率38.9%は平成26年度38.2%より0.7ポイント上昇している。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
奥多摩町	38.2%	38.2%	38.9%
都	41.4%	41.9%	41.7%
国	35.2%	36.0%	36.4%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

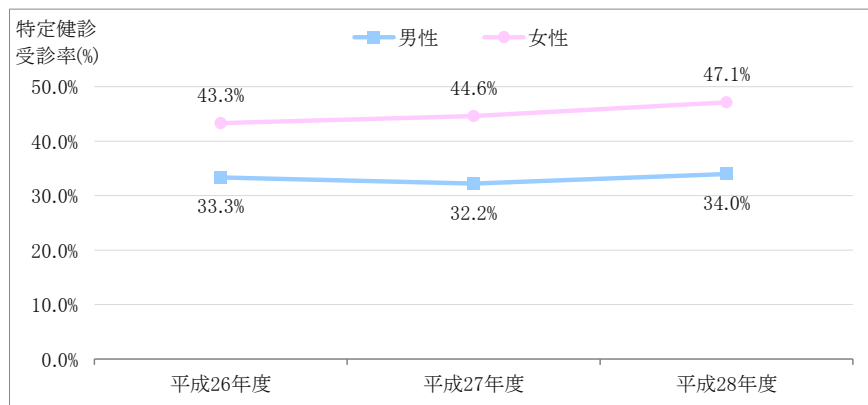
年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率34.0%は平成26年度33.3%より0.7ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率47.1%は平成26年度43.3%より3.8ポイント上昇している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

②特定保健指導

本町の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

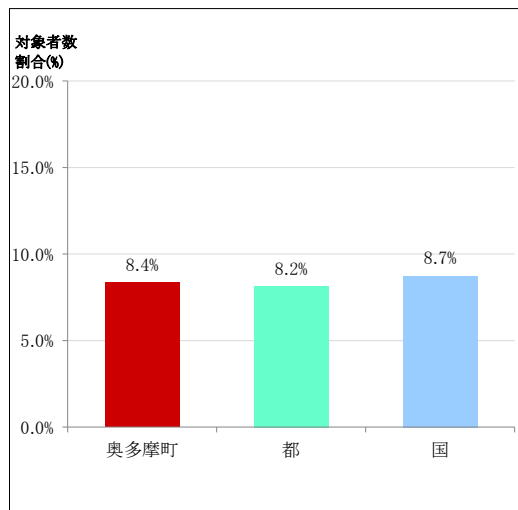
特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
奥多摩町	8.4%	1.9%	10.3%	21.4%
都	8.2%	4.2%	12.4%	9.2%
国	8.7%	3.2%	12.0%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

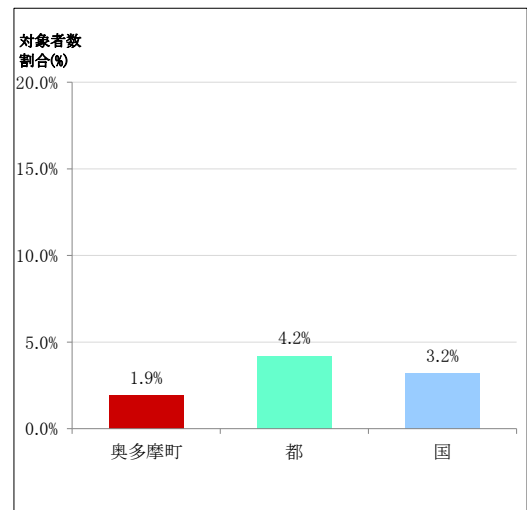
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



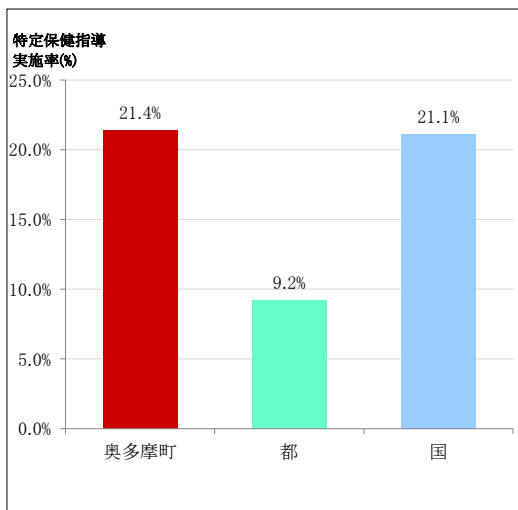
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。平成28年度の特定保健指導実施率21.4%は平成26年度46.8%より25.4ポイント低下している。

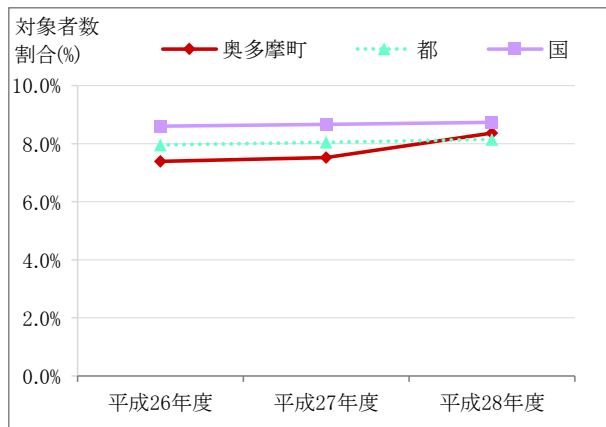
年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
奥多摩町	7.4%	7.5%	8.4%	1.8%	2.6%	1.9%	9.1%	10.1%	10.3%	23.4%	32.7%	21.4%
都	8.0%	8.0%	8.2%	4.2%	4.2%	4.2%	12.1%	12.2%	12.4%	9.6%	9.4%	9.2%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	12.0%	20.6%	20.5%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

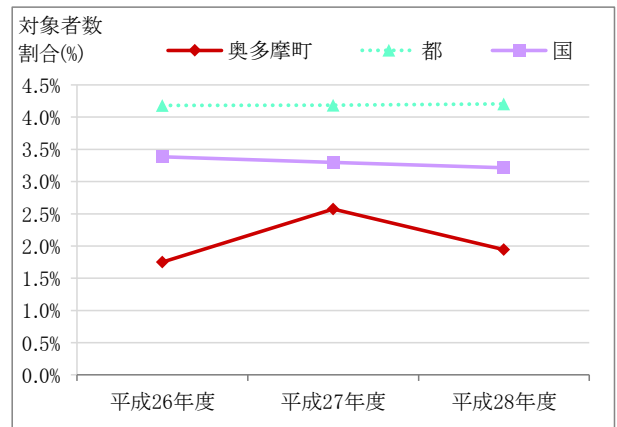
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



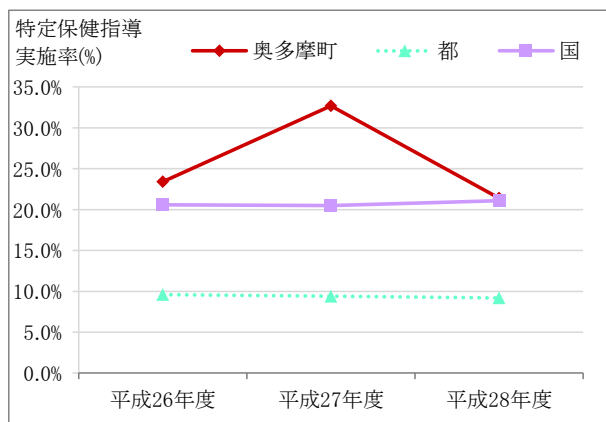
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(5) 介護保険の状況

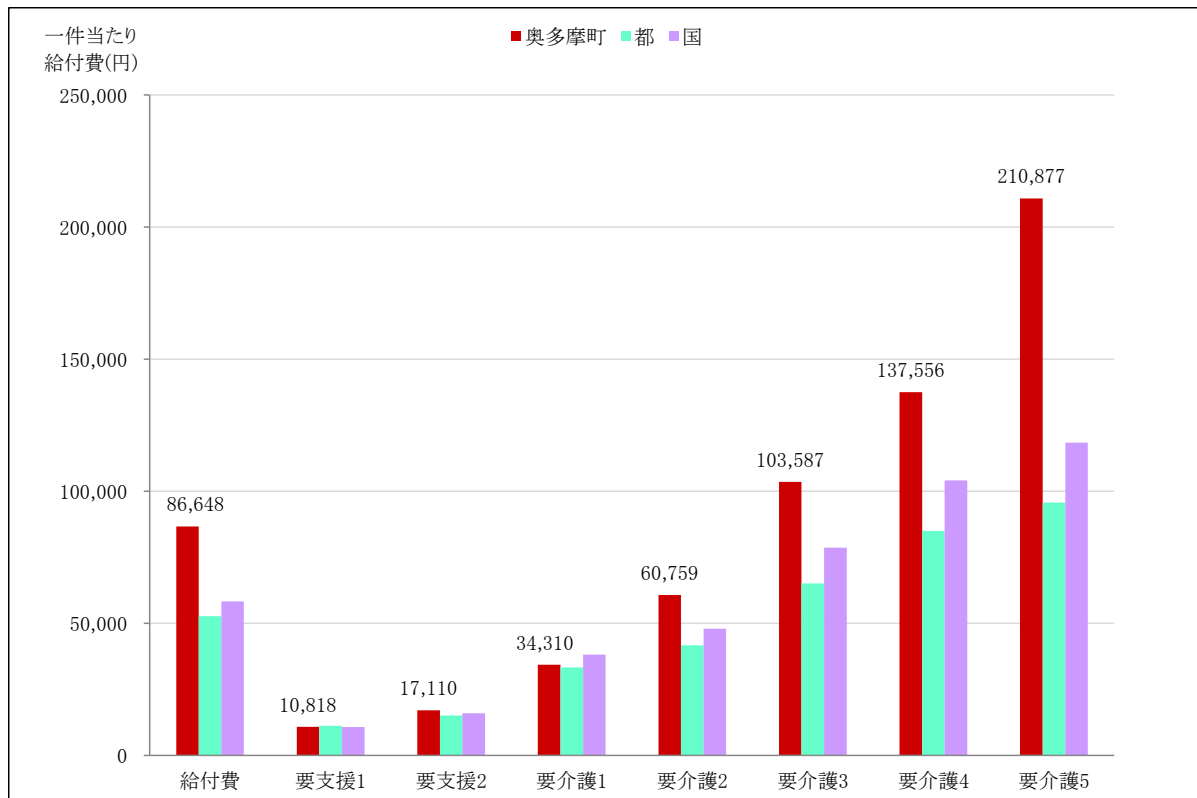
本町の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	奥多摩町	都	国
認定率	16.8%	21.6%	21.2%
認定者数(人)	431	540,225	6,037,083
第1号(65歳以上)	423	525,125	5,885,270
第2号(40～64歳)	8	15,100	151,813
一件当たり給付費(円)			
給付費	86,648	52,760	58,284
要支援1	10,818	11,239	10,735
要支援2	17,110	15,173	15,996
要介護1	34,310	33,299	38,163
要介護2	60,759	41,769	48,013
要介護3	103,587	65,140	78,693
要介護4	137,556	85,001	104,104
要介護5	210,877	95,709	118,361

出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

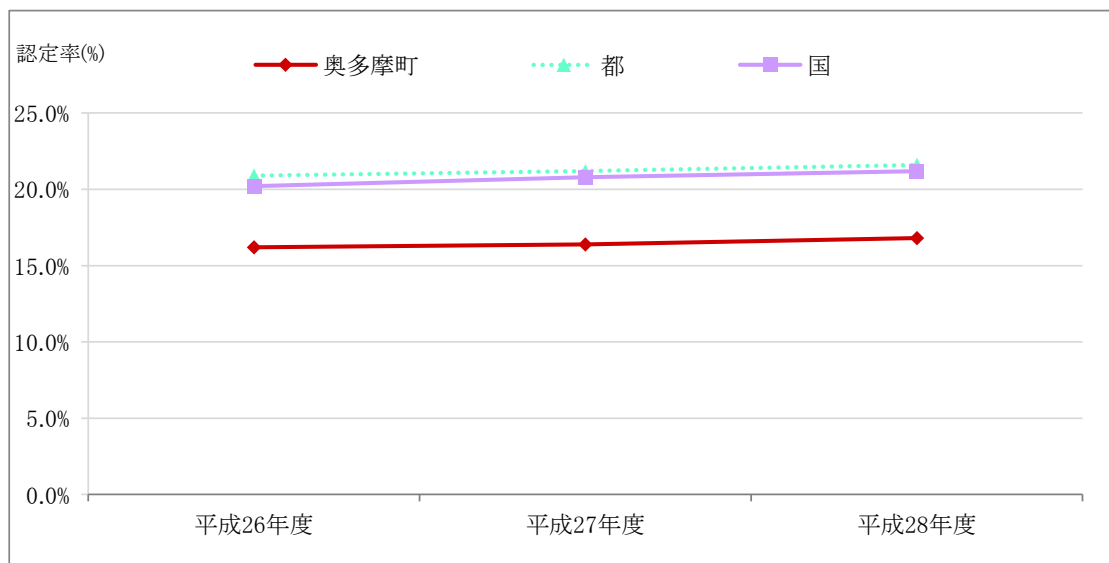
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率16.8%は平成26年度16.2%より0.6ポイント上昇しており、平成28年度の認定者数431人は平成26年度422人より9人増加している。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
				第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
奥多摩町	平成26年度	16.2%	422	414	8
	平成27年度	16.4%	410	404	6
	平成28年度	16.8%	431	423	8
都	平成26年度	20.9%	494,189	479,432	14,757
	平成27年度	21.2%	495,114	481,234	13,880
	平成28年度	21.6%	540,225	525,125	15,100
国	平成26年度	20.2%	5,769,707	5,610,636	159,071
	平成27年度	20.8%	5,883,288	5,730,333	152,955
	平成28年度	21.2%	6,037,083	5,885,270	151,813

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると1,271人となり、認定者は平均2.9疾病を有していることがわかる。

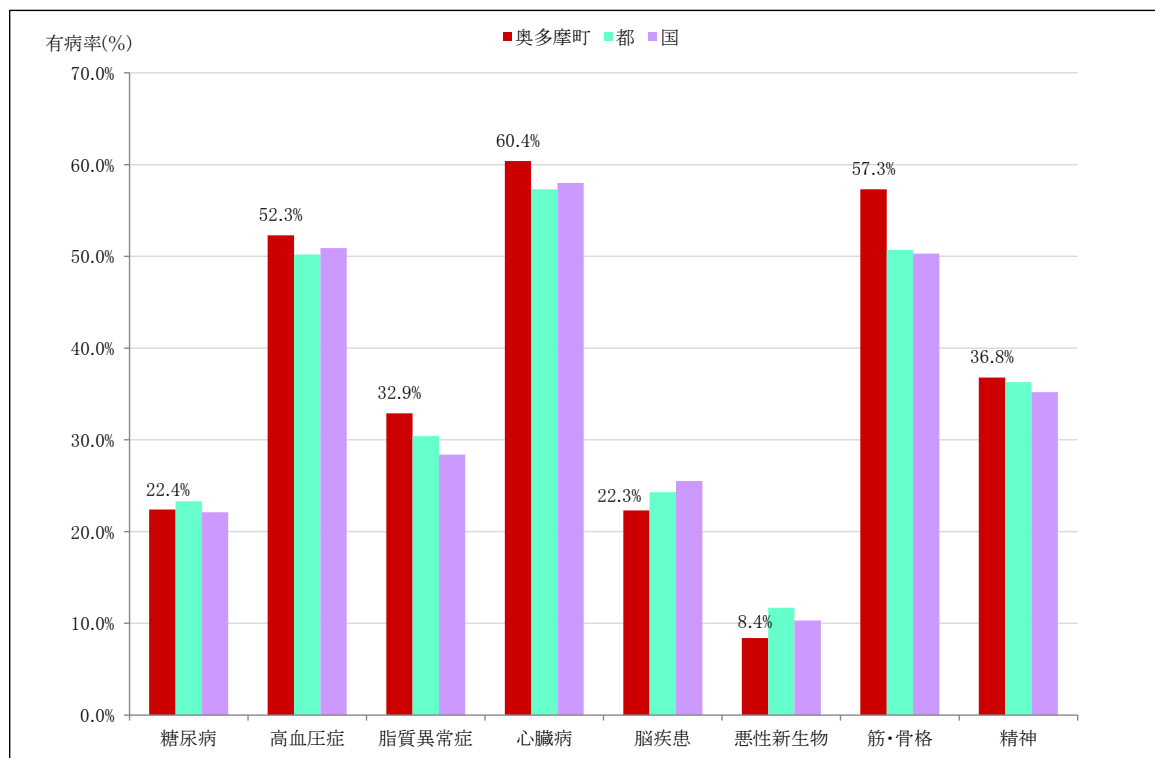
認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	奥多摩町	順位	都	順位	国	順位
認定者数(人)	431		540,225		6,037,083	
糖尿病	実人数(人)	100	124,935	7	1,350,152	7
	有病率	22.4%	23.3%		22.1%	
高血圧症	実人数(人)	222	268,576	3	3,101,200	2
	有病率	52.3%	50.2%		50.9%	
脂質異常症	実人数(人)	146	162,126	5	1,741,866	5
	有病率	32.9%	30.4%		28.4%	
心臓病	実人数(人)	263	306,329	1	3,529,682	1
	有病率	60.4%	57.3%		58.0%	
脳疾患	実人数(人)	96	128,157	6	1,538,683	6
	有病率	22.3%	24.3%		25.5%	
悪性新生物	実人数(人)	36	62,550	8	631,950	8
	有病率	8.4%	11.7%		10.3%	
筋・骨格	実人数(人)	246	270,442	2	3,067,196	3
	有病率	57.3%	50.7%		50.3%	
精神	実人数(人)	162	194,429	4	2,154,214	4
	有病率	36.8%	36.3%		35.2%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数2.9疾病は平成26年度の3.1から0.2減少している。

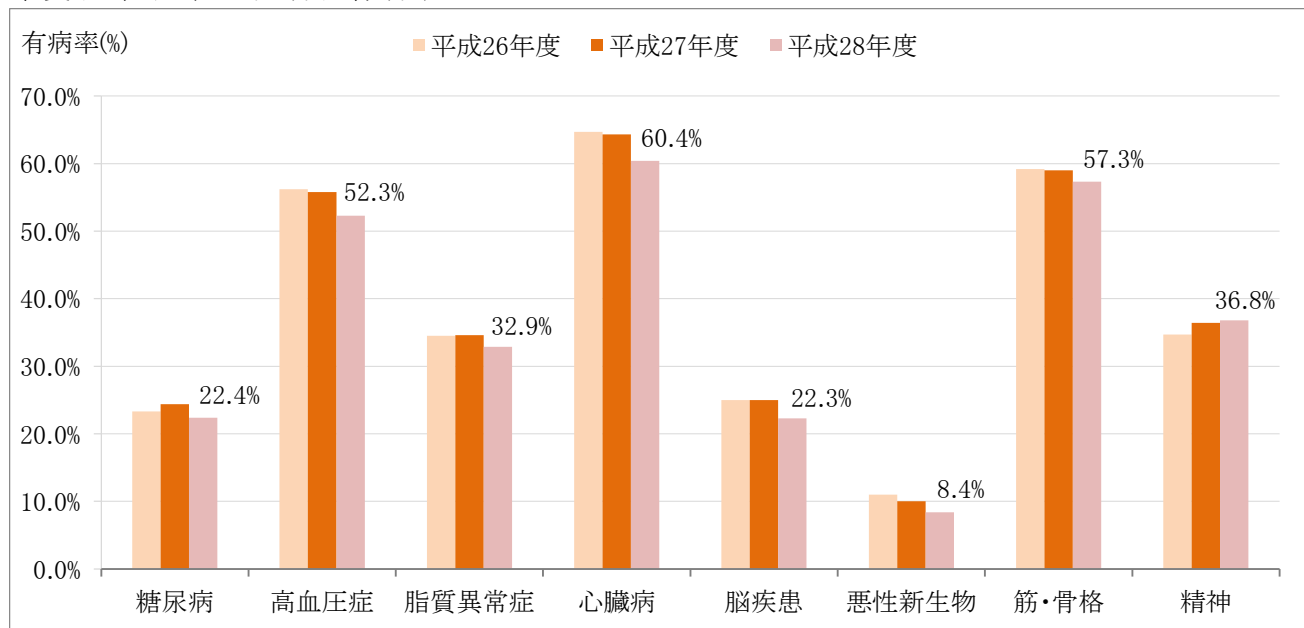
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	奥多摩町						都			国		
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
認定者数(人)	422		410		431		494,189	495,114	540,225	5,769,707	5,883,288	6,037,083
糖尿病	実人数(人)	99	102	100	116,026	116,769	124,935	1,262,744	1,311,205	1,350,152		
	有病率(%)	23.3%	24.4%	22.4%	23.0%	23.2%	23.3%	21.5%	21.9%	22.1%		
高血圧症	実人数(人)	238	229	222	248,353	252,035	268,576	2,935,799	3,025,010	3,101,200		
	有病率(%)	56.2%	55.8%	52.3%	49.5%	50.2%	50.2%	50.2%	50.8%	50.9%		
脂質異常症	実人数(人)	158	143	146	149,447	152,745	162,126	1,607,276	1,683,014	1,741,866		
	有病率(%)	34.5%	34.6%	32.9%	29.6%	30.3%	30.4%	27.2%	28.0%	28.4%		
心臓病	実人数(人)	283	261	263	283,683	287,090	306,329	3,352,116	3,444,300	3,529,682		
	有病率(%)	64.7%	64.3%	60.4%	56.6%	57.3%	57.3%	57.5%	57.9%	58.0%		
脳疾患	実人数(人)	112	108	96	124,104	123,450	128,157	1,516,426	1,533,687	1,538,683		
	有病率(%)	25.0%	25.0%	22.3%	25.0%	24.8%	24.3%	26.2%	25.9%	25.5%		
悪性新生物	実人数(人)	42	39	36	57,823	58,264	62,550	579,129	606,159	631,950		
	有病率(%)	11.0%	10.0%	8.4%	11.4%	11.5%	11.7%	9.8%	10.1%	10.3%		
筋・骨格	実人数(人)	261	242	246	249,218	252,976	270,442	2,881,117	2,976,401	3,067,196		
	有病率(%)	59.2%	59.0%	57.3%	49.6%	50.4%	50.7%	49.3%	50.0%	50.3%		
精神	実人数(人)	153	155	162	175,386	180,764	194,429	1,992,402	2,075,125	2,154,214		
	有病率(%)	34.7%	36.4%	36.8%	34.9%	35.9%	36.3%	33.9%	34.7%	35.2%		

出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

(6) 主たる死因の状況

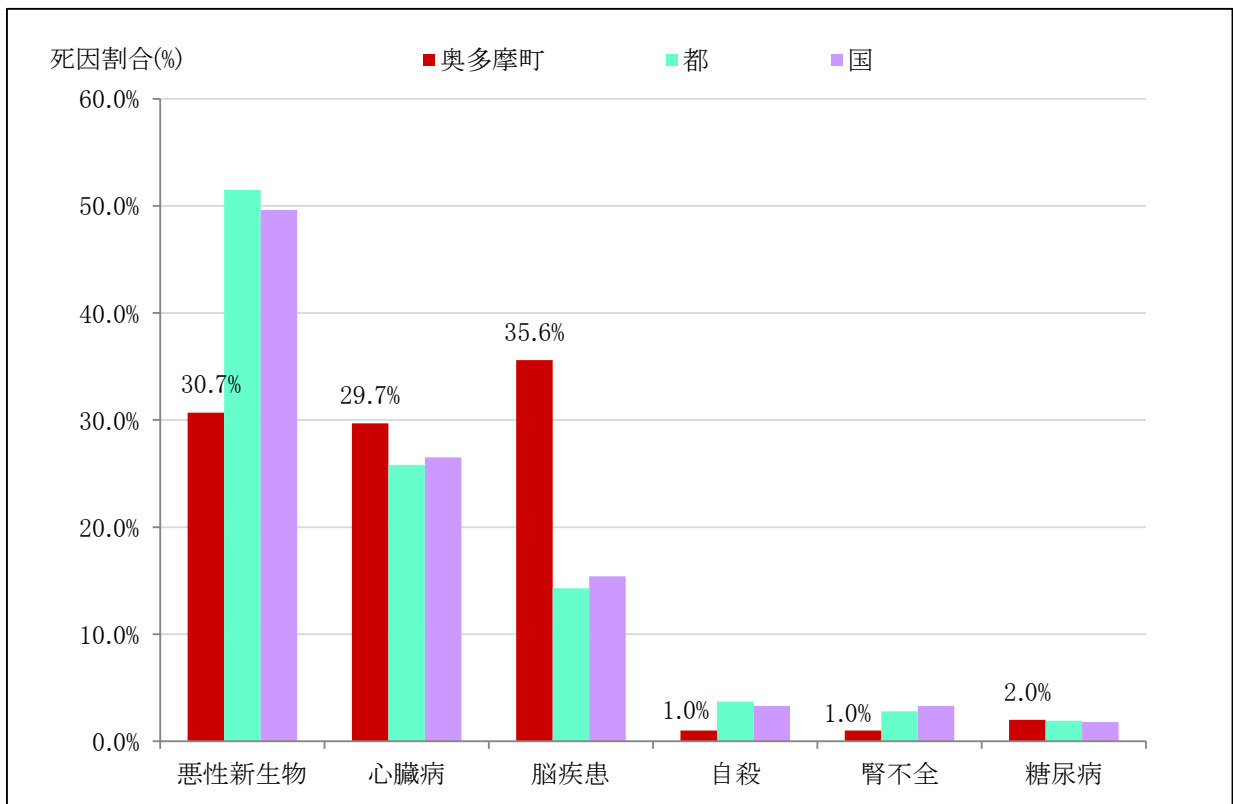
本町の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	奥多摩町		都	国
	人数(人)	割合(%)		
悪性新生物	31	30.7%	51.5%	49.6%
心臓病	30	29.7%	25.8%	26.5%
脳疾患	36	35.6%	14.3%	15.4%
自殺	1	1.0%	3.7%	3.3%
腎不全	1	1.0%	2.8%	3.3%
糖尿病	2	2.0%	1.9%	1.8%
合計	101			

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

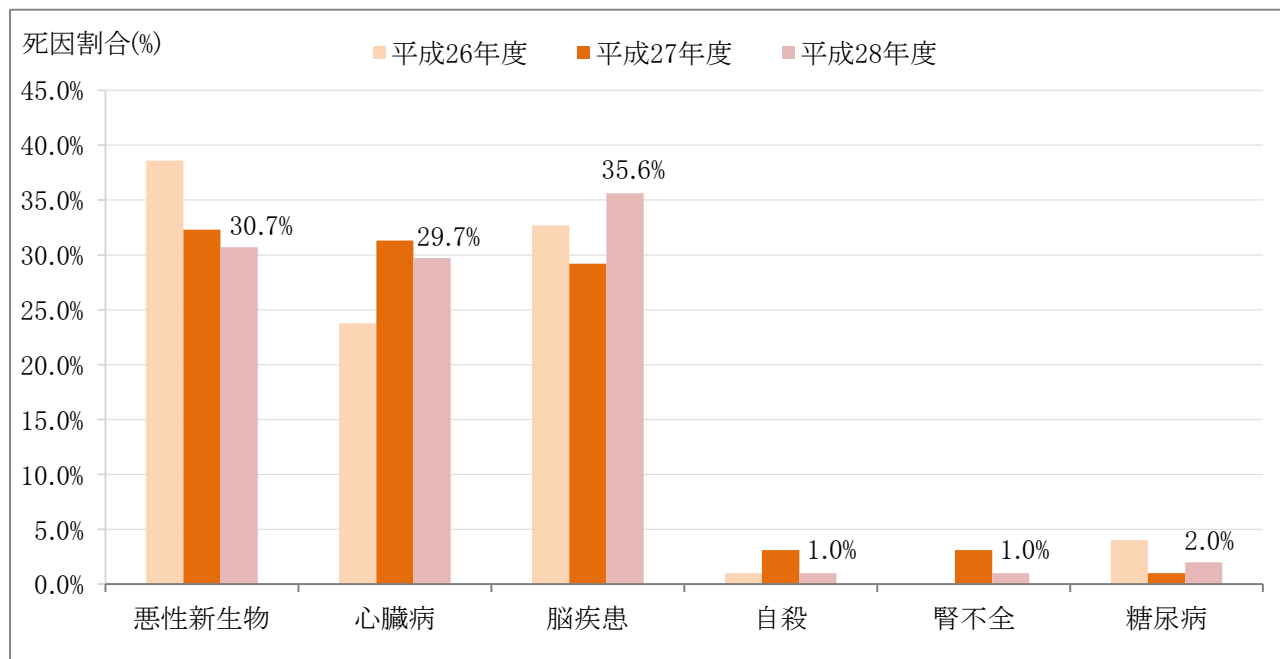
本町の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数31人は平成26年度39人より8人減少しており、心臓病を死因とする人数30人は平成26年度24人より6人増加している。また、脳疾患を死因とする人数36人は平成26年度33人より3人増加している。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	奥多摩町						都			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度						
悪性新生物	39	31	31	38.6%	32.3%	30.7%	50.4%	50.9%	51.5%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	24	30	30	23.8%	31.3%	29.7%	25.7%	25.4%	25.8%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	33	28	36	32.7%	29.2%	35.6%	15.2%	14.8%	14.3%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	1	3	1	1.0%	3.1%	1.0%	3.9%	4.0%	3.7%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	0	3	1	0.0%	3.1%	1.0%	2.8%	2.9%	2.8%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	4	1	2	4.0%	1.0%	2.0%	2.0%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	101	96	101									

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(7)KDBシステムデータから読み取れる奥多摩町国保の現状

- ・被保険者のうち、高齢者の割合が高く、国・都平均と比較して、外来患者数、入院患者数、受診率、1人あたり医療費が高い。
- ・特定健康診査受診率は、全国的に見れば平均以上ではあるが、東京都平均より低く、国が目標とする60.0%には程遠い。
- ・特定健康診査の年齢別受診率は、全年齢を通じて女性の方が5～10%ほど高く、また、60歳以上で上昇し、65歳以上でさらに上昇する。
40歳～59歳の被保険者は、60歳以上に比べ、対象者数も少ないが、特定健康診査受診率も低い。
- ・特定保健指導実施率は、国・都平均と比較して同程度あるいは高くなっている。国・都平均と比較して、支援対象者数割合は少し低い。
- ・介護保険の認定率は国・都平均と比較して低いが、1件あたり給付費はかなり高い。
- ・介護保険の認定者の疾病別有病率は、国・都の状況と比べて、上位の疾病とその有病率ともに大きく変わらない。上位5位が、心臓病、筋・骨格、高血圧症、脂質異常症、精神である。
- ・主たる死因の状況は、国・都の状況とは大きく異なっている。特に、悪性新生物の割合が低く、脳疾患の割合が目立って高い。脳疾患ほどではないが、心臓病の割合も高くなっている。

(まとめ)

これらの情報から、死亡あるいは介護認定に至る要因として、心臓病や高血圧、脂質異常症といった生活習慣病が大きく関わっていることは明白である。特に、脳疾患による死亡の割合が高いことは着目すべき点である。

また、奥多摩町は、医療や介護が必要になった際にかかる1人あたりの費用が国・都の平均的水準と比べて高く、被保険者数も少ないため、医療費や介護費の負担という面で、被保険者1人にかかる疾病リスクが大きく、それは、保健事業の重要度が高いということでもある。

そのなかで、特定健康診査の受診率が都平均よりも低い状況は、決して望ましい状態ではない。健康診査の受診を促し、高齢者だけでなく、将来のリスクとなり得る40歳～59歳の被保険者にも、積極的にアプローチをかけていく必要がある。

2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。全事業、横ばいもしくは悪化により目標を達成できなかった。平成28年度からの新規事業については、実施の結果多くの問題点が見られたが、同時に今後の改善点を多く見つけることができた。

実施年度	事業名	実施内容	事業目的
平成28年度から平成29年度	特定保健指導事業	特定保健指導の実施の促進	被保険者の生活習慣病予防
平成28年度から平成29年度	糖尿病性腎症重症化予防事業	レセプト等データにより対象者を特定し、適切な保健指導を行い、生活習慣及び検査値のの改善を行った。	被保険者の糖尿病性腎症患者の病期進行阻止
平成28年度から平成29年度	健診異常値放置者受診勧奨事業	対象者へ通知等による受診勧奨	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診
平成28年度から平成29年度	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の差額通知による勧奨	ジェネリック医薬品の普及率向上

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

施策等	目標値(平成29年度末)		達成状況	評価
	アウトプット	アウトカム		
対象者に対し保健指導の案内通知及び電話による勧奨を行い、面談、手紙及び電話連絡による指導を実施し、生活習慣及び検査値の改善を図る。	対象者の指導実施率10%向上	対象者の生活習慣改善率50%	周知、及び実施期間が十分に確保できなかったため、指導実施率、生活習慣病改善率ともに目標を達成できなかった。	2
レセプト等データより特定した対象者に対し保健指導の案内通知及び電話勧奨を行い、面談、手紙及び電話連絡による指導を実施し、生活習慣及び検査値の改善を図る。	・指導対象者の指導実施率20%	・指導実施完了者の生活習慣改善率70% ・指導実施完了者の検査値改善率70% ・指導実施完了者の糖尿病性腎症における病期進行者0人	2か年で延べ対象者68名中、延べ参加者6名であり、目標の20%を達成できなかった。通知、受診勧奨、医師との連携について手法を見直し、指導実施率を上げる必要がある。また、生活習慣及び検査値の改善率及び病期進行者数は、実施の時期が遅くなったため評価できなかった。	3
過去の特定保健指導対象者のうち未受診者を特定し、医療機関受診の勧奨通知及びアンケートを送付し、受診勧奨及び未受診の原因調査を行う。	・対象者への通知率100%	・対象者の医療機関受診率20%	本来は対象者を保健指導未受診者ではなく健診結果分析により特定すべきだが、実施体制上、それができないことと、2か年度で延べ59名の対象者のその後の受診有無を確認する時間が取れなかったため。	3
年3回以上100円以上の差額の方に手紙により通知し、ジェネリック医薬品の普及率向上させることにより医療費の削減につなげる。	・対象者への通知率100%	・ジェネリック医薬品普及率5%向上	差額通知は100%行ったが、町内の薬局ではジェネリック医薬品を取り扱っておらず、普及率は達成できなかった。	3

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、奥多摩町国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均1,635人、レセプト件数は平均1,936件、患者数は平均871人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均55,978円となった。

基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	1,704	1,675	1,665	1,661	1,659	1,649	1,639	
B	レセプト件数(件)	入院外	1,265	1,171	1,206	1,164	1,130	1,177	1,161
		入院	36	35	33	33	28	38	35
		調剤	787	719	764	728	724	715	708
		合計	2,088	1,925	2,003	1,925	1,882	1,930	1,904
C	医療費(円) ※	48,539,700	40,118,110	46,868,400	41,421,610	44,512,000	51,297,120	45,791,050	
D	患者数(人) ※	933	860	889	871	842	883	858	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	28,486	23,951	28,149	24,938	26,831	31,108	27,938	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,247	20,841	23,399	21,518	23,651	26,579	24,050	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	52,025	46,649	52,720	47,556	52,865	58,094	53,370	
B/A	受診率(%)	122.5%	114.9%	120.3%	115.9%	113.4%	117.0%	116.2%	
D/A	有病率(%)	54.8%	51.3%	53.4%	52.4%	50.8%	53.5%	52.3%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	1,602	1,595	1,595	1,586	1,592	1,635		
B	レセプト件数(件)	入院外	1,151	1,202	1,111	1,138	1,200	1,173	14,076
		入院	40	39	31	39	47	36	434
		調剤	720	735	665	719	740	727	8,724
		合計	1,911	1,976	1,807	1,896	1,987	1,936	23,234
C	医療費(円) ※	54,004,540	55,311,640	51,496,460	50,063,660	55,821,820	48,770,509	585,246,110	
D	患者数(人) ※	860	882	841	857	879	871	10,455	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	33,711	34,678	32,286	31,566	35,064	29,826		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	28,260	27,992	28,498	26,405	28,094	25,189		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	62,796	62,712	61,232	58,417	63,506	55,978		
B/A	受診率(%)	119.3%	123.9%	113.3%	119.5%	124.8%	118.4%		
D/A	有病率(%)	53.7%	55.3%	52.7%	54.0%	55.2%	53.3%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは176件発生しており、レセプト件数全体の0.8%を占める。高額レセプトの医療費は2億94万円となり、医療費全体の34.3%を占める。

高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	2,088	1,925	2,003	1,925	1,882	1,930	1,904
B	高額レセプト件数(件)	14	8	14	10	13	14	16
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.4%	0.7%	0.5%	0.7%	0.7%	0.8%
C	医療費(円) ※	48,539,700	40,118,110	46,868,400	41,421,610	44,512,000	51,297,120	45,791,050
D	高額レセプトの医療費(円) ※	17,054,560	8,350,840	15,277,570	10,278,050	14,403,180	18,773,870	14,805,650
E	その他レセプトの医療費(円) ※	31,485,140	31,767,270	31,590,830	31,143,560	30,108,820	32,523,250	30,985,400
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	35.1%	20.8%	32.6%	24.8%	32.4%	36.6%	32.3%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	1,911	1,976	1,807	1,896	1,987	1,936	23,234
B	高額レセプト件数(件)	18	16	16	17	20	15	176
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.9%	0.8%	0.9%	0.9%	1.0%	0.8%	
C	医療費(円) ※	54,004,540	55,311,640	51,496,460	50,063,660	55,821,820	48,770,509	585,246,110
D	高額レセプトの医療費(円) ※	23,093,770	21,554,630	19,991,280	17,145,320	20,212,740	16,745,122	200,941,460
E	その他レセプトの医療費(円) ※	30,910,770	33,757,010	31,505,180	32,918,340	35,609,080	32,025,388	384,304,650
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	42.8%	39.0%	38.8%	34.2%	36.2%	34.3%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「白血病」「その他の心疾患」「その他の神経系の疾患」等となった。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0209	白血病	急性骨髄性白血病, 慢性骨髄性白血病	2	11,465,050	3,443,440	14,908,490	7,454,245
2	0903	その他の心疾患	発作性心房細動, 心房細動, 肺動脈性肺高血圧症	7	11,414,350	33,106,900	44,521,250	6,360,179
3	0606	その他の神経系の疾患	不眠症	1	6,216,560	72,440	6,289,000	6,289,000
4	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉非小細胞肺癌, 下葉肺腺癌, 下葉肺扁平上皮癌	5	16,953,010	13,149,110	30,102,120	6,020,424
5	1011	その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 慢性呼吸不全, 慢性膿胸	3	16,485,190	954,030	17,439,220	5,813,073
6	1402	腎不全	慢性腎不全, 慢性腎臓病ステージG5	5	14,013,510	14,152,850	28,166,360	5,633,272
7	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎	1	0	4,976,480	4,976,480	4,976,480
8	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	低酸素血症	1	4,920,050	24,480	4,944,530	4,944,530
9	0208	悪性リンパ腫	結節硬化型古典的ホジキンリンパ腫	1	1,818,880	2,512,910	4,331,790	4,331,790
10	0905	脳内出血	脳皮質下出血, 被殻出血, 視床出血	3	11,374,440	1,061,700	12,436,140	4,145,380
11	0402	糖尿病	増殖性糖尿病性網膜症・2型糖尿病	1	2,386,500	995,830	3,382,330	3,382,330
12	0908	その他の脳血管疾患	硬膜動静脈瘻, 慢性硬膜下血腫	2	5,289,180	1,225,160	6,514,340	3,257,170
13	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性前壁中隔心筋梗塞, 陳旧性心筋梗塞	6	16,874,690	2,305,370	19,180,060	3,196,677
14	0906	脳梗塞	脳梗塞, 脳梗塞後遺症	3	7,115,650	583,250	7,698,900	2,566,300
15	1302	関節症	両側性原発性膝関節症, 一側性原発性膝関節症, 変形性股関節症	3	5,963,100	638,730	6,601,830	2,200,610
16	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 胸部上部食道癌	3	5,202,010	1,296,800	6,498,810	2,166,270
17	1404	その他の腎尿路系の疾患	急性尿路感染	1	2,149,320	0	2,149,320	2,149,320
18	0106	その他のウイルス性疾患	HIV感染症	1	0	2,017,210	2,017,210	2,017,210
19	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	頸椎症性脊髄症, 腰部脊柱管狭窄症	3	5,461,080	514,970	5,976,050	1,992,017
20	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	汚染創	1	1,670,750	201,420	1,872,170	1,872,170

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

※患者数順の上位20疾病、下位の患者1人は疾病コード順。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の心疾患」「虚血性心疾患」「骨折」である。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
				入院	入院外	合計	
1	0903 その他の心疾患	発作性心房細動, 心房細動, 肺動脈性肺高血圧症	7	11,414,350	33,106,900	44,521,250	6,360,179
2	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性前壁中隔心筋梗塞, 陳旧性心筋梗塞	6	16,874,690	2,305,370	19,180,060	3,196,677
2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 多発骨折, 粉碎骨折	6	9,405,380	1,165,580	10,570,960	1,761,827
4	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉非小細胞肺癌, 下葉肺腺癌, 下葉肺扁平上皮癌	5	16,953,010	13,149,110	30,102,120	6,020,424
4	1111 胆石症及び胆のう炎	胆管結石症, 胆石性胆のう炎, 総胆管結石性胆管炎	5	6,506,940	1,591,640	8,098,580	1,619,716
4	1402 腎不全	慢性腎不全, 慢性腎臓病ステージG5	5	14,013,510	14,152,850	28,166,360	5,633,272
7	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, スキルス胃癌	3	4,365,620	1,186,270	5,551,890	1,850,630
7	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 横行結腸癌, 盲腸癌	3	3,354,190	2,165,620	5,519,810	1,839,937
7	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 胸部上部食道癌	3	5,202,010	1,296,800	6,498,810	2,166,270
7	0905 脳内出血	脳皮質下出血, 被殻出血, 視床出血	3	11,374,440	1,061,700	12,436,140	4,145,380
7	0906 脳梗塞	脳梗塞, 脳梗塞後遺症	3	7,115,650	583,250	7,698,900	2,566,300
7	1011 その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 慢性呼吸不全, 慢性膿胸	3	16,485,190	954,030	17,439,220	5,813,073
7	1302 関節症	両側性原発性膝関節症, 一側性原発性膝関節症, 変形性股関節症	3	5,963,100	638,730	6,601,830	2,200,610
7	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	頸椎性脊髄症, 腰部脊柱管狭窄症	3	5,461,080	514,970	5,976,050	1,992,017
15	0209 白血病	急性骨髄性白血病, 慢性骨髄性白血病	2	11,465,050	3,443,440	14,908,490	7,454,245
15	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	多発性子宮筋腫, 壁内子宮平滑筋腫	2	1,526,790	334,410	1,861,200	930,600
15	0704 その他の眼及び付属器の疾患	網膜剥離, 硝子体混濁	2	1,455,130	886,510	2,341,640	1,170,820
15	0908 その他の脳血管疾患	硬膜動静脈瘻, 慢性硬膜下血腫	2	5,289,180	1,225,160	6,514,340	3,257,170
19	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎	1	0	4,976,480	4,976,480	4,976,480
19	0106 その他のウイルス性疾患	HIV感染症	1	0	2,017,210	2,017,210	2,017,210

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の21.6%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の12.7%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	14,701,061	2.5%	12	1,490	13	377	10	38,995	13
II. 新生物<腫瘍>	73,844,559	12.7%	2	1,519	12	392	9	188,379	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,867,790	0.7%	15	808	16	207	15	18,685	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	50,846,124	8.7%	4	8,326	2	715	4	71,113	6
V. 精神及び行動の障害	39,153,266	6.7%	7	2,386	8	218	14	179,602	4
VI. 神経系の疾患	18,509,845	3.2%	10	3,958	5	377	10	49,098	11
VII. 眼及び付属器の疾患	25,997,826	4.5%	9	3,077	7	523	6	49,709	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,200,525	0.2%	16	364	17	93	17	12,909	18
IX. 循環器系の疾患	126,295,204	21.6%	1	8,980	1	719	3	175,654	5
X. 呼吸器系の疾患	32,131,272	5.5%	8	3,768	6	756	2	42,502	12
X I. 消化器系の疾患 ※	39,782,981	6.8%	6	6,525	3	789	1	50,422	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	11,608,319	2.0%	14	2,024	10	457	8	25,401	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	43,550,742	7.5%	5	5,949	4	712	5	61,167	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	69,969,672	12.0%	3	1,970	11	296	13	236,384	2
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	1,188,278	0.2%	17	21	20	3	20	396,093	1
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,620	0.0%	21	2	21	1	21	1,620	21
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	209,767	0.0%	20	132	18	30	18	6,992	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,966,004	2.1%	13	2,099	9	461	7	25,957	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	17,678,066	3.0%	11	1,027	14	315	12	56,121	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	836,703	0.1%	18	850	15	120	16	6,973	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	240,206	0.0%	19	96	19	18	19	13,345	17
合計	583,579,830			23,004		1,433		407,243	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

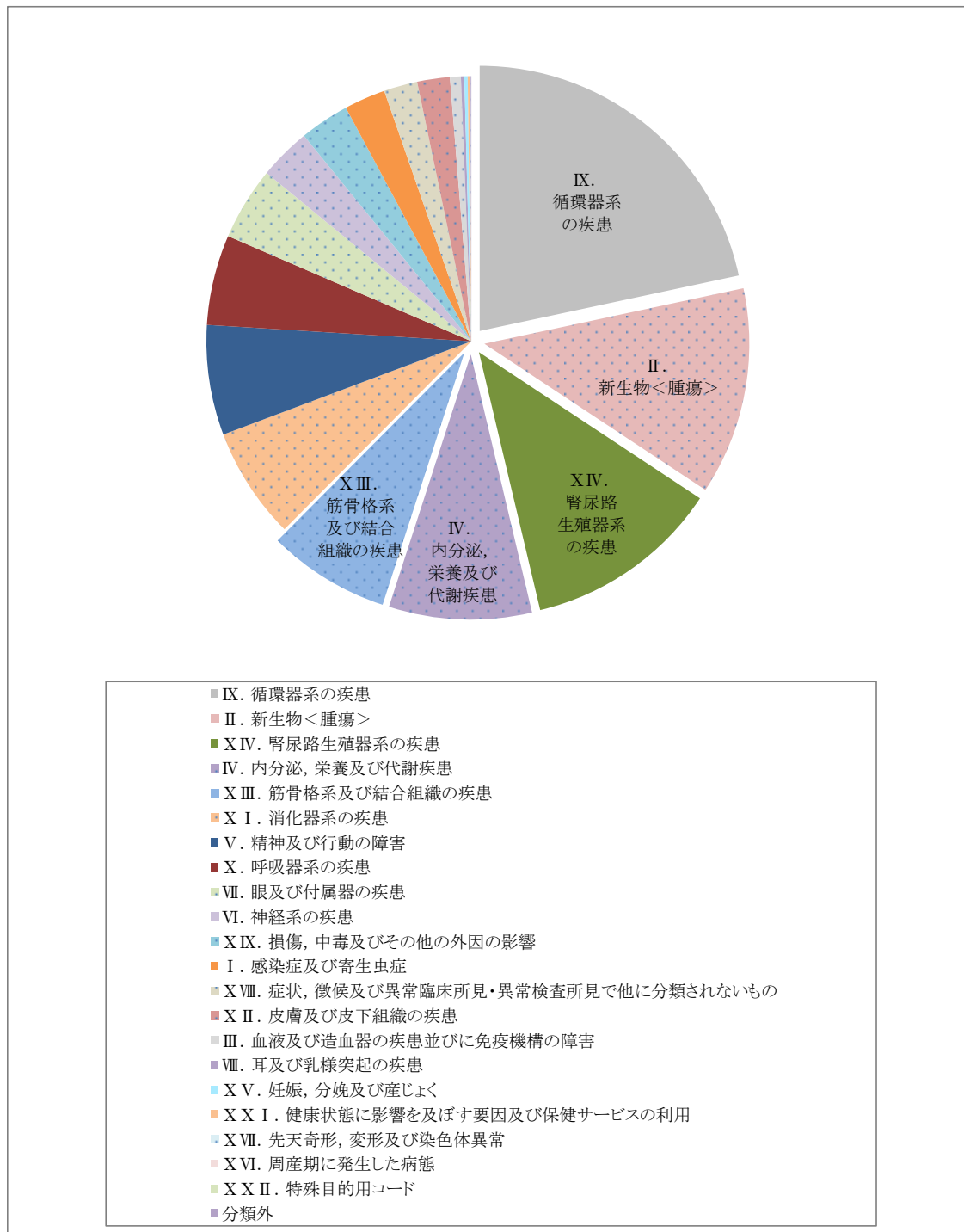
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「腎尿路生殖器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	延べ患者数(人)	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)
1	1402 腎不全	61,500,863	61	10.5%
2	0903 その他の心疾患	48,611,485	237	8.3%
3	0901 高血圧性疾患	32,969,234	559	5.6%
4	0402 糖尿病	25,907,693	406	4.4%
5	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	24,674,556	48	4.2%
6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	22,834,912	56	3.9%
7	1113 その他の消化器系の疾患	22,119,525	471	3.8%
8	0902 虚血性心疾患	20,540,412	174	3.5%
9	0403 脂質異常症	16,311,465	411	2.8%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	15,453,821	350	2.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	32,969,234	559	39.0%
2	1105 胃炎及び十二指腸炎	6,297,937	480	33.5%
3	1113 その他の消化器系の疾患	22,119,525	471	32.9%
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,966,004	461	32.2%
5	0403 脂質異常症	16,311,465	411	28.7%
6	0402 糖尿病	25,907,693	406	28.3%
7	0703 屈折及び調節の障害	1,617,153	380	26.5%
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	15,453,821	350	24.4%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	5,872,533	339	23.7%
10	0606 その他の神経系の疾患	11,102,078	332	23.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209 白血病	12,140,332	6	2,023,389
2	1402 腎不全	61,500,863	61	1,008,211
3	1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	1,079,732	2	539,866
4	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	24,674,556	48	514,053
5	0208 悪性リンパ腫	4,938,199	10	493,820
6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	22,834,912	56	407,766
7	0903 その他の心疾患	48,611,485	237	205,112
8	0908 その他の脳血管疾患	4,704,572	26	180,945
9	0905 脳内出血	7,351,577	44	167,081
10	1901 骨折	12,050,934	77	156,506

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類全項目についてはP70～P74に記載

・大分類及び中分類による疾病別医療費統計にて、医療費の高額な疾病をまとめると、以下のとおりとなる。

<総医療費上位10分類を優先度で区分>

※「妊娠、分娩及び産じょく」を除く

1人あたりの医療費

<p>高</p> <p>低</p>	<p>1人あたりの医療費高・患者数少</p> <p>リスク者への個別アプローチによる<u>保健指導方式の事業</u>により、大きな効果を期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腎尿路生殖器系の疾患【腎不全】 ・新生物（腫瘍）【肺がん、白血病】 ・精神及び行動の障害【統合失調症】 <p style="text-align: center;">優先度 高</p>	<p>1人あたりの医療費高・患者数多</p> <p>医療費は高額だが、対象者数が多く個別対応では難しい。 <u>住民全体向けの運動教室や栄養講話による啓発を実施する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環器系の疾患【高血圧性疾患、虚血性心疾患、その他の心疾患】 ・内分泌、栄養及び代謝疾患【糖尿病、脂質異常症】 ・筋骨格系及び結合組織の疾患【腰痛、関節症、脊椎障害など】 <p style="text-align: center;">優先度 中</p>
	<p>1人あたりの医療費低・患者数少</p> <p>保健事業を行う上での優先度としては、他の疾患より低い分類となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・眼及び付属器の疾患【その他の眼疾患】 ・神経系の疾患【その他の神経系疾患】 ・損傷、中毒及びその他の外因の影響【骨折】 	<p>1人あたりの医療費低・患者数多</p> <p>保健事業を行う上での優先度は、他の疾患より低い。 機会を見て、パンフレット配布等により、啓発を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消化器系の疾患【胃炎、その他の消化器系疾患】
	<p>少 多</p> <p style="text-align: right;">患者数</p>	

※【】内に記載した中分類名は、その属する大分類中、特に医療費の高額なものである。

高額な医療費のかかる疾患は、そのほとんどが「優先度 高」または「優先度 中」のカテゴリーに属している。これらの疾患のうち、医療費の増加抑制のため、医療データを活用した、国保における保健事業としての対応が適当であり、かつ最も優先度の高い疾患は「腎不全」である。

肺がん、高血圧、糖尿病、脂質異常症、腰痛、関節症などについては、国保の保健事業で対応可能な部分を選別し、そのほかの部分も広く町民全体を対象とした事業を行うことで対応していくべきである。

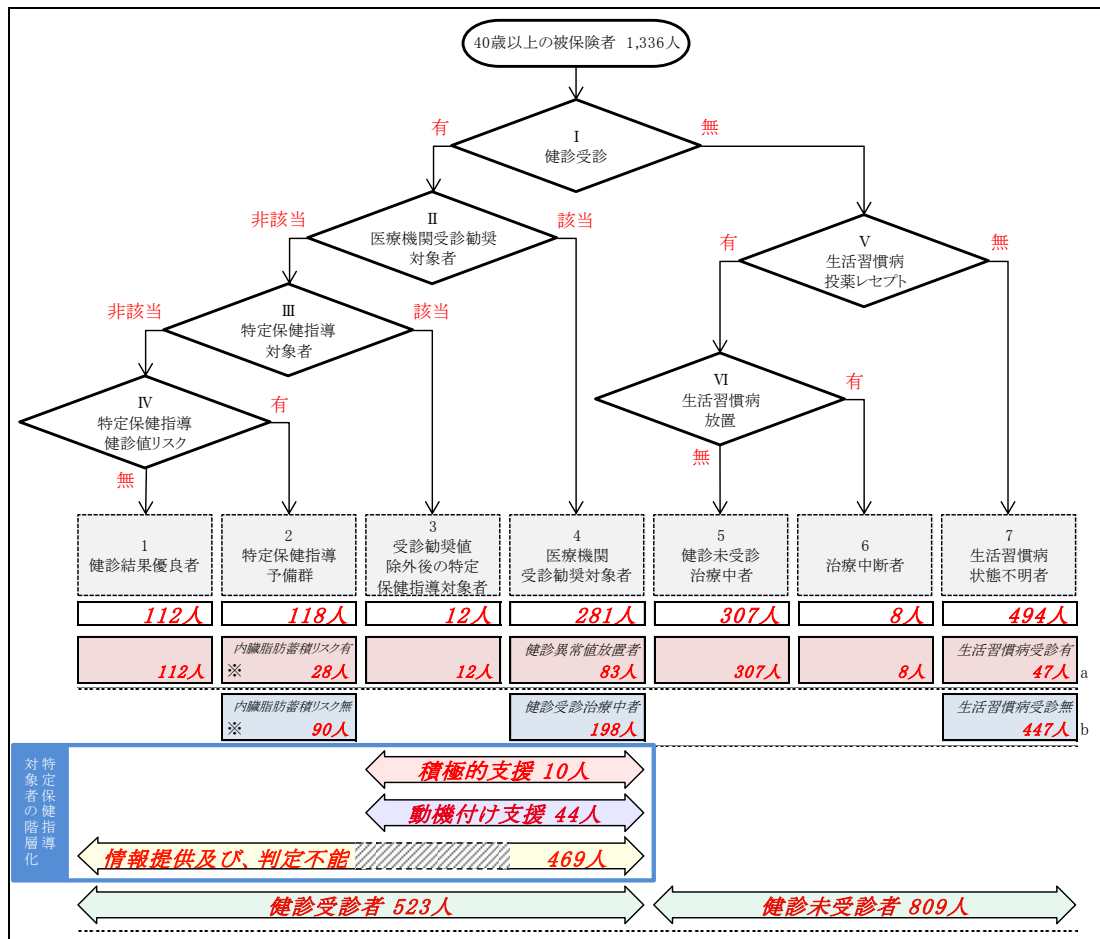
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

・健診受診者のうち、特定保健指導対象者以外で、対応が必要となり得る群は、医療機関への受診勧奨を受けている群のうち、受診していない群(健診異常値放置者)の83人と、特定保健指導対象者予備群118人のうち内臓脂肪蓄積リスクのある28人である。医療費の増加という面で見した場合の優先度は、健診異常値放置者83人の方が高い。

また、健診未受診者809人については、受診勧奨を強化し、その状態を把握できるよう努める必要がある。

(2) 特定健康診査に係る分析

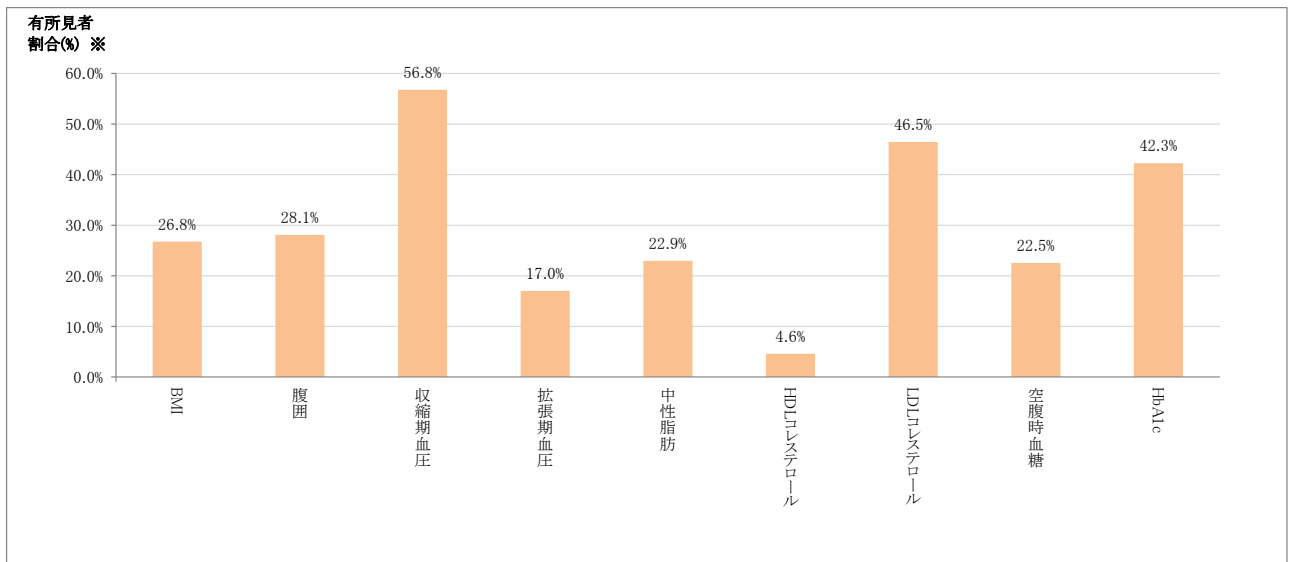
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	523	523	523	523
有所見者数(人) ※	140	147	297	89
有所見者割合(%) ※	26.8%	28.1%	56.8%	17.0%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	523	523	523	253	523
有所見者数(人) ※	120	24	243	57	221
有所見者割合(%) ※	22.9%	4.6%	46.5%	22.5%	42.3%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

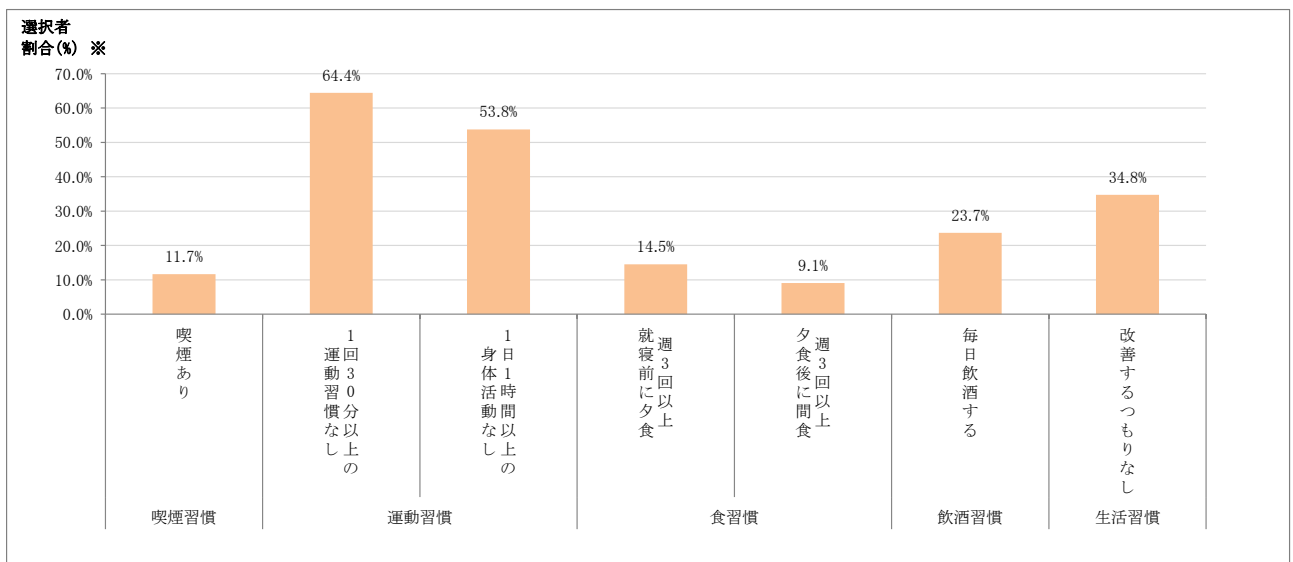
空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

	喫煙習慣	運動習慣	
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	523	520	513
選択者数(人) ※	61	335	276
選択者割合(%) ※	11.7%	64.4%	53.8%

	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
質問の選択肢	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	516	518	511	486
選択者数(人) ※	75	47	121	169
選択者割合(%) ※	14.5%	9.1%	23.7%	34.8%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり	…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
1回30分以上の運動習慣なし	…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
1日1時間以上の身体活動なし	…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
週3回以上就寝前に夕食	…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
週3回以上夕食後に間食	…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
毎日飲酒する	…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
改善するつもりなし	…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

・特定健康診査受診者における有所見者割合については、血圧、LDLコレステロール値、ヘモグロビンA1c値の有所見割合が40～50%とかなり高い。また、運動習慣及び身体活動不足の割合が高くなっている。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は54人である。このうち、積極的支援の対象者は10人、動機付け支援の対象者は44人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			54人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	1人	10人 19%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	1人	
	●	●	●	●		血糖+血圧+喫煙	0人	
	●	●	●			血糖+脂質+喫煙	1人	
	●	●	●	●		血圧+脂質+喫煙	2人	
	●	●	●		因子数2	血糖+血圧	0人	
	●	●	●			血糖+脂質	0人	
	●	●	●	●		血圧+脂質	2人	
	●	●	●			血糖+喫煙	0人	
	●	●	●	●		血圧+喫煙	1人	
	●	●	●	●	脂質+喫煙	2人		
	●	●	●		因子数1	血糖	0人	
	●	●	●			血圧	0人	
●	●	●		脂質		0人		
●	●	●	●	因子数0	喫煙	0人		
●	●	●	●	なし	なし	0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	0人	44人 81%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	2人	
	●	●	●	●		血糖+血圧+喫煙	1人	
	●	●	●			血糖+脂質+喫煙	0人	
	●	●	●	●		血圧+脂質+喫煙	0人	
	●	●	●		因子数2	血糖+血圧	7人	
	●	●	●			血糖+脂質	4人	
	●	●	●	●		血圧+脂質	4人	
	●	●	●			血糖+喫煙	0人	
	●	●	●	●		血圧+喫煙	0人	
	●	●	●	●	脂質+喫煙	0人		
	●	●	●		因子数1	血糖	4人	
	●	●	●			血圧	20人	
●	●	●		脂質		2人		
●	●	●	●	因子数0	喫煙	0人		
●	●	●	●	なし	なし	0人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

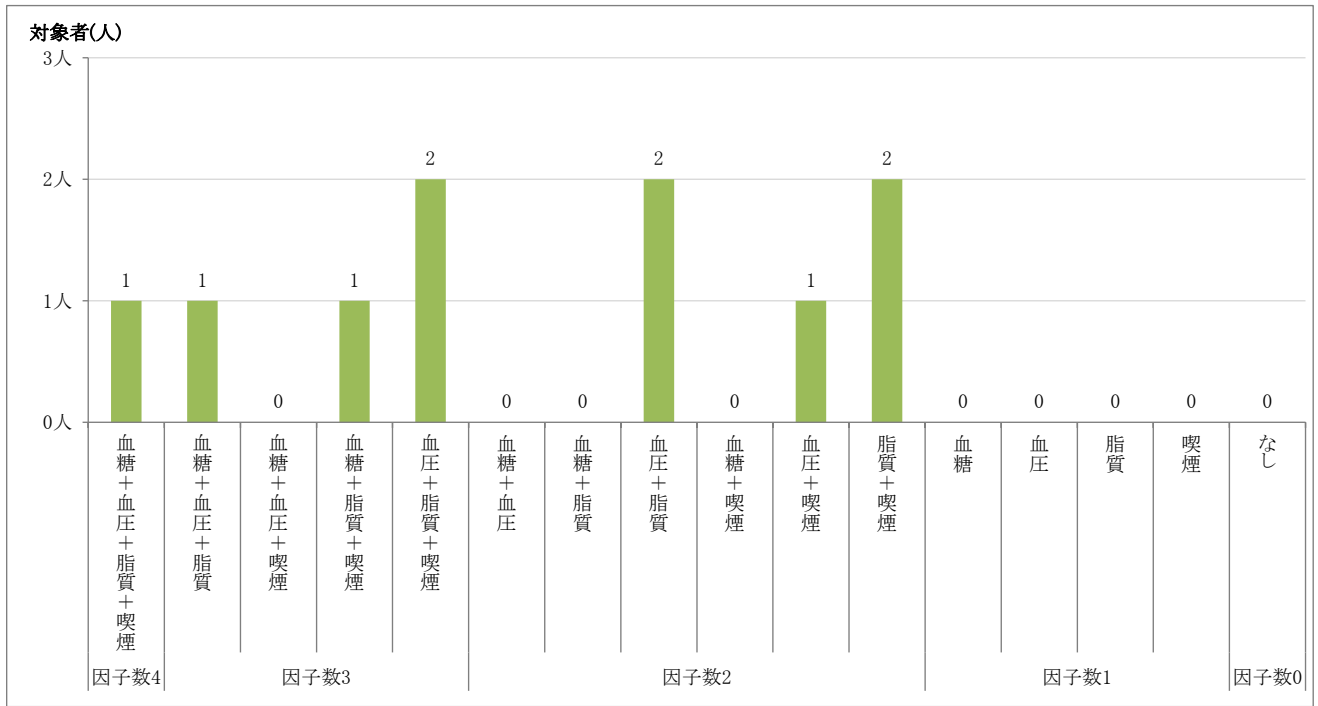
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

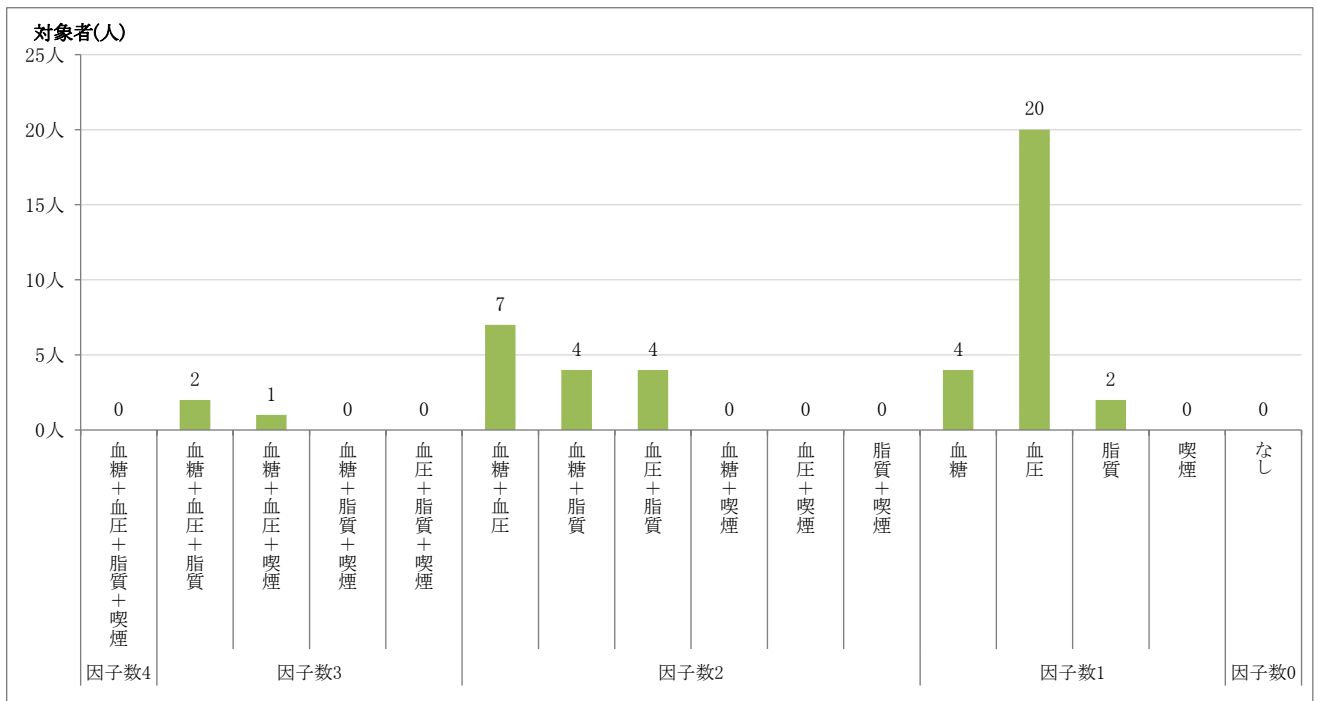
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

- ・特定保健指導について、動機付け支援対象者44人のうち、そのリスク因子に「血圧」が含まれる対象者が33人おり、75%に及ぶ。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する83人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	83 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定	
	除外理由別人数
除外	がん、難病等
	26 人
↓	
除外患者を除いた候補者数	57 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者57人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 1人	候補者C 0人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 2人	候補者D 12人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 6人	候補者F 36人
		喫煙	非喫煙
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			57人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者10人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	候補者人数 8 人
	上記以外のグループ(検診受診者)	2 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		10 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、難病等	0 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		10 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者10人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	リスクA 候補者A1 0人	候補者A2 1人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	リスクB 候補者B1 2人	候補者B2 3人	候補者B3 0人
	生活習慣病有病数 1つ	リスクC 候補者C1 1人	候補者C2 2人	候補者C3 1人
		1 毎月受診	2 2～3カ月に1度受診	3 4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				10人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、85.7%が生活習慣を起因とするものであり、その85.7%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

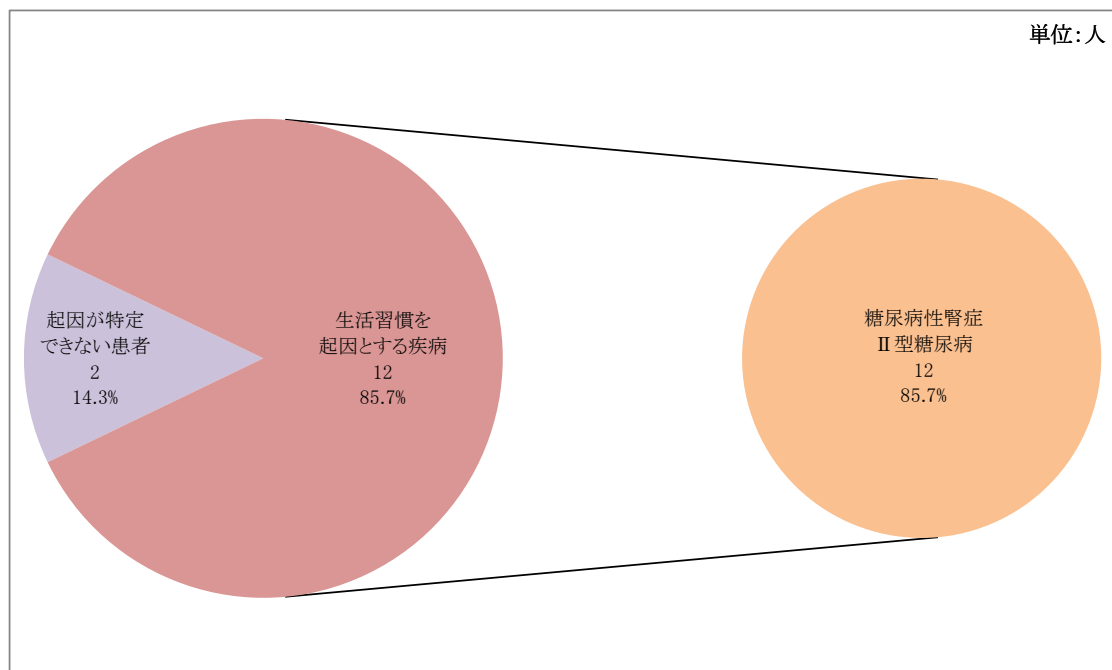
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	14
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	14

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

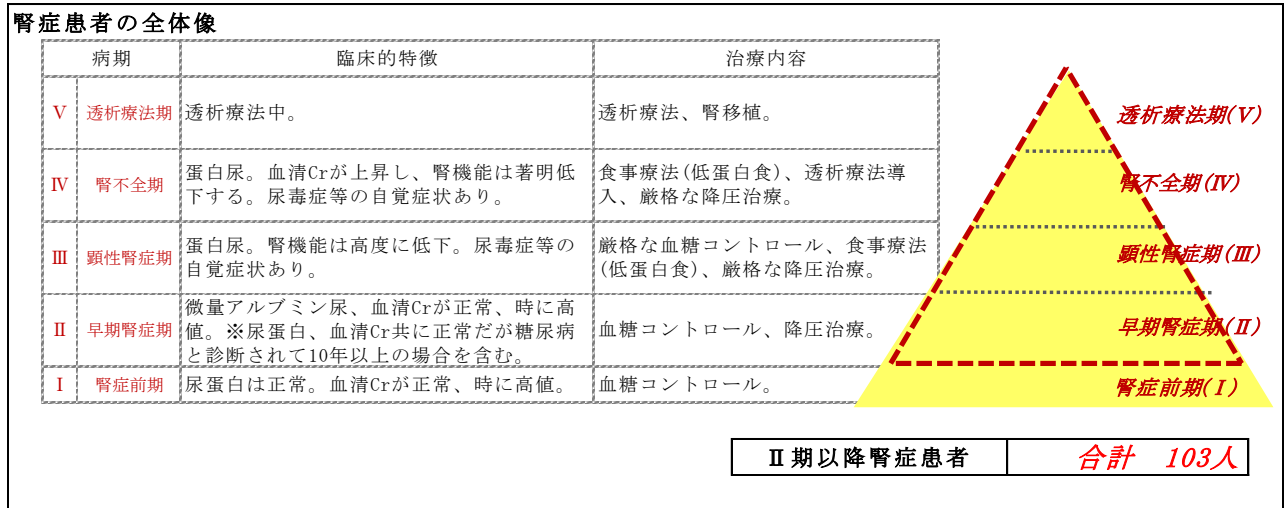
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者103人中19人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

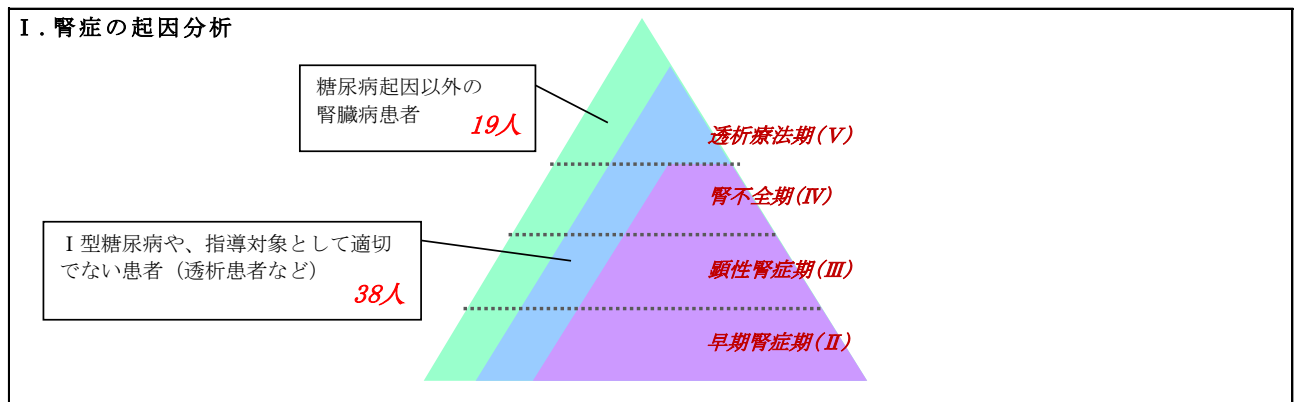
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、19人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、38人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

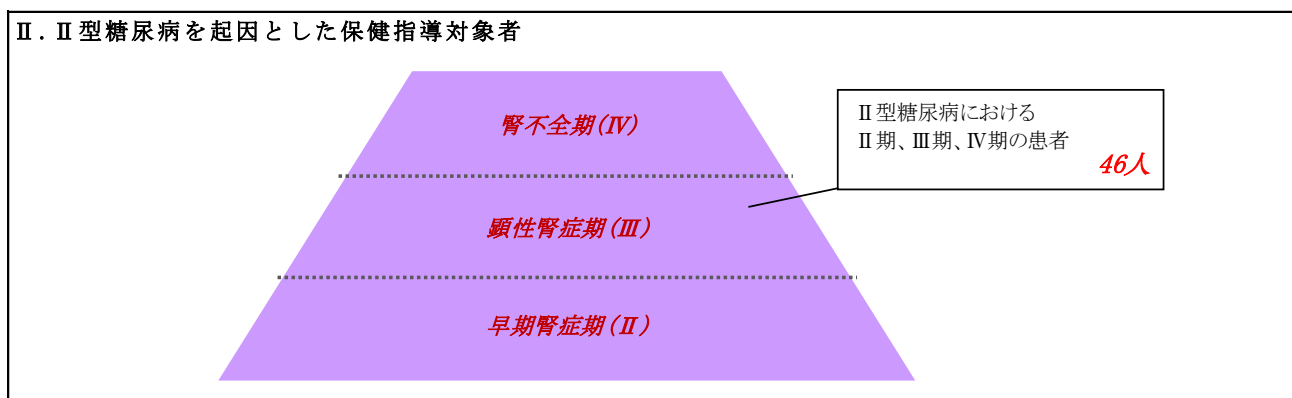
腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期、早期腎症期の患者は合わせて46人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

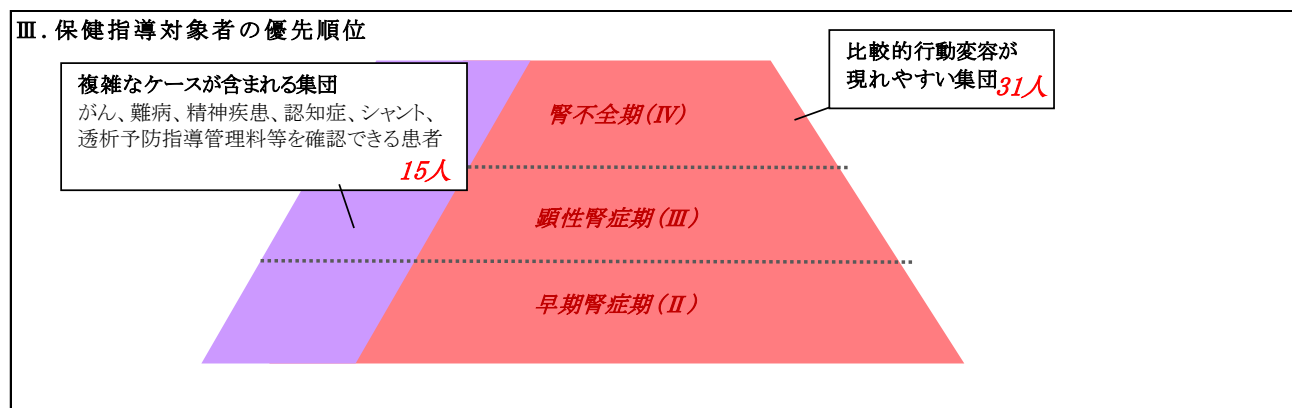


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。46人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、15人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、31人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

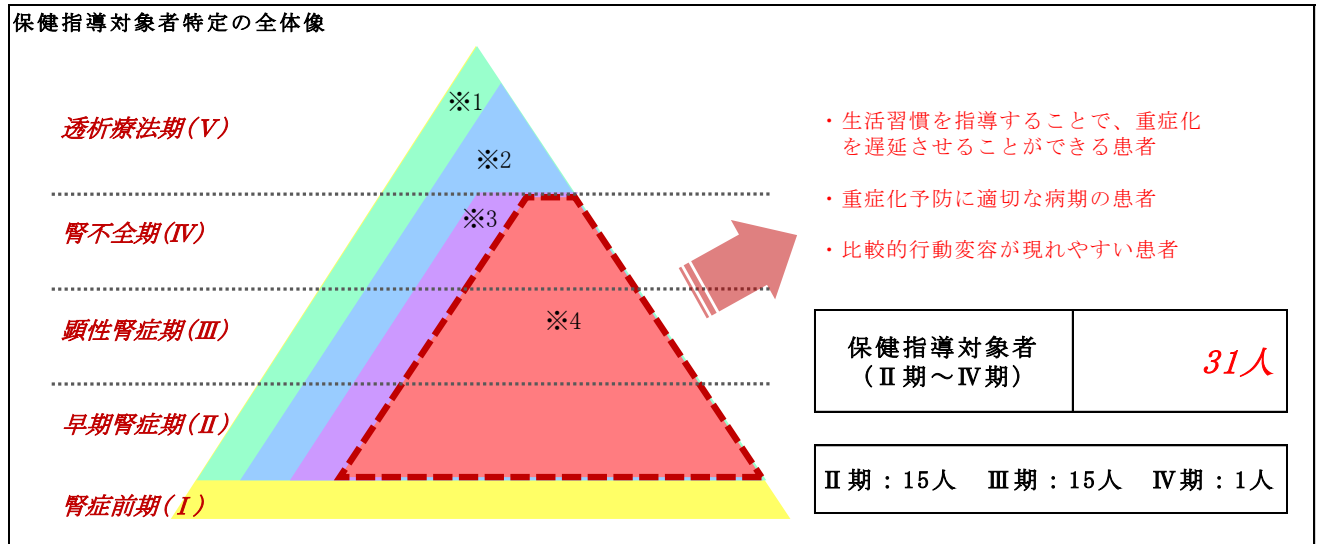
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、31人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

※5…Ⅳ期は腎不全期(透析への移行に近い)のため糖尿病性腎症重症化予防事業対象者はⅡ期、Ⅲ期の30名とする。

(7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) *	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	1
12カ月間の延べ人数											6	
12カ月間の実人数											5	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) *	8	10	13	13	8	13	10	7	9	12	11	16
12カ月間の延べ人数											130	
12カ月間の実人数											38	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) *	6	8	7	8	4	7	8	7	9	9	8	9
12カ月間の延べ人数											90	
12カ月間の実人数											44	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は5人、頻回受診者は38人、重複服薬者は44人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者 ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者 ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者 	
条件設定により候補者となった患者数	79 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	0 人	51 人
除外②	がん、難病等 ※	51 人	
除外患者を除き、候補者となった患者数		28 人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者28人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは7人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 3人	候補者C 0人	候補者 としない 21人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 2人	候補者D 0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 1人	候補者F 1人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				7人

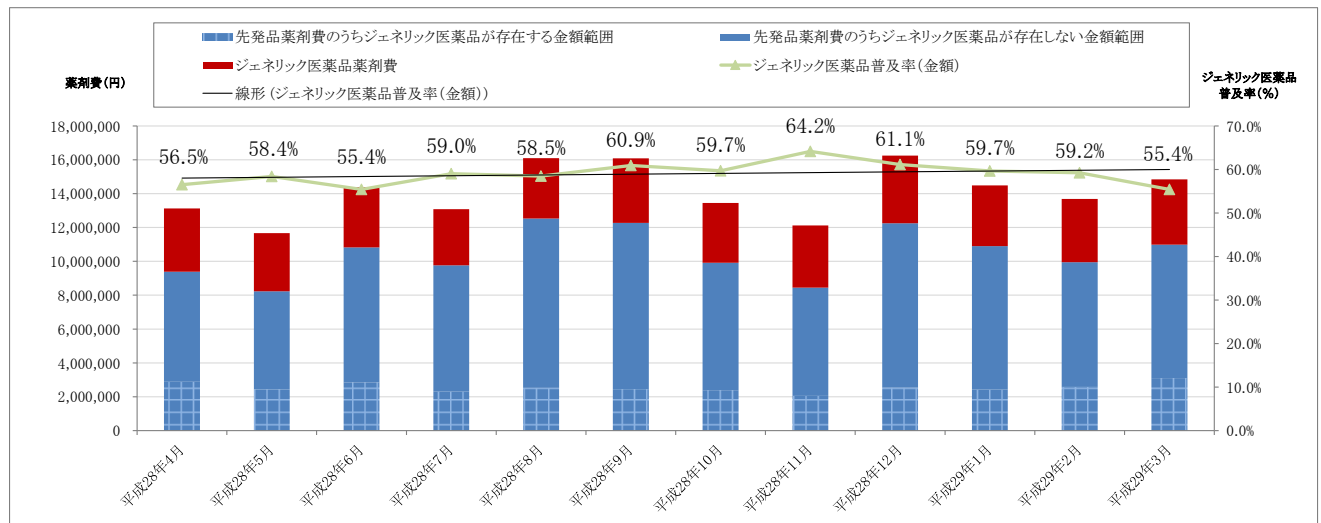
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は58.9%(金額ベース)、70.2%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

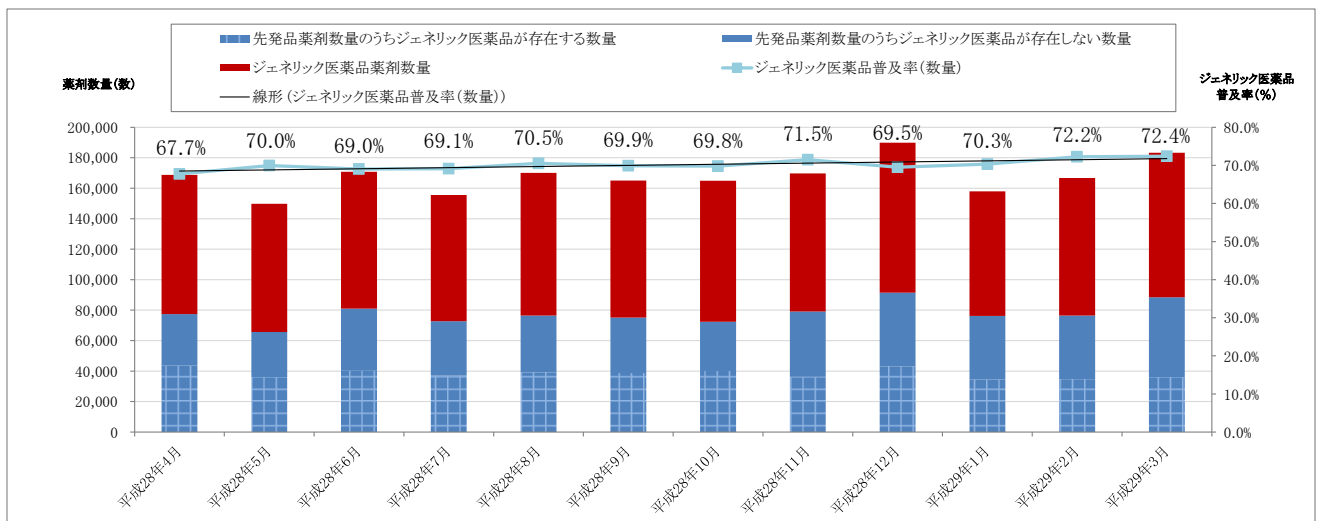


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



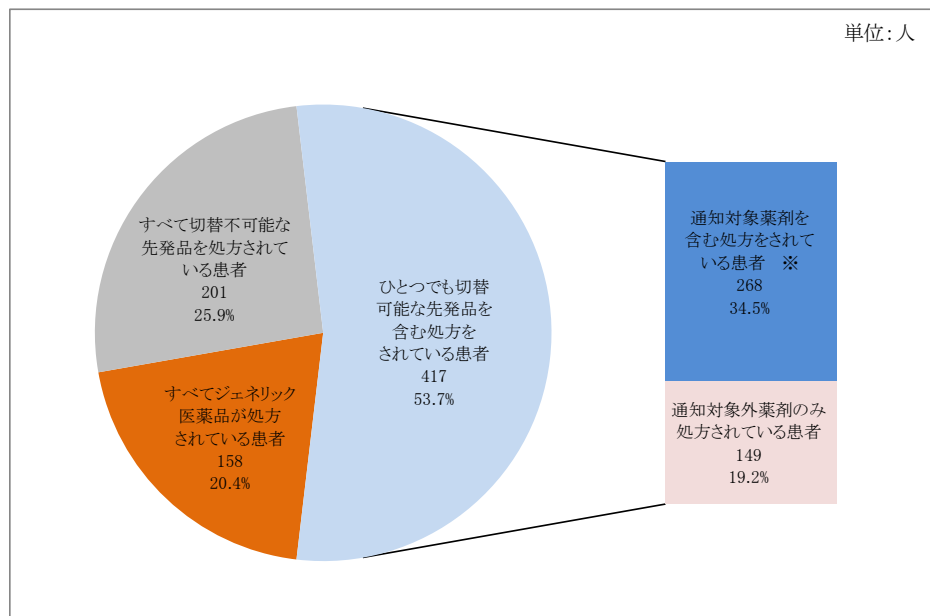
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は776人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は417人で患者数全体の53.7%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、268人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の34.5%となる。

薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(9) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

現在、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の対象者延べ人数は39人、実人数は25人である。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
薬剤併用禁忌対象者数(人) ※	3	5	0	1	1	5	5	5	3	4	3	4
12カ月間の延べ人数											39	
12カ月間の実人数											25	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

実人数(人)	25
件数合計(件)	63

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品 コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品 コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	10
2	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620160601	サラザック配合顆粒	6
3	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	6
4	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160601	サラザック配合顆粒	6
5	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	620139302	スルピリド錠100mg「サワイ」	6
6	内服	614310043	ヨウ化ナトリウムカプセル-1号 37MBq	内服	620004391	メルカゾール錠5mg	3
7	内服	614310047	ヨウ化ナトリウムカプセル-5号 185MBq	内服	620004391	メルカゾール錠5mg	3
8	内服	614310027	ヨードカプセル-123 3.7MBq	内服	620004391	メルカゾール錠5mg	3
9	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	2
10	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	2
11	内服	622053601	グルバス配合錠	内服	620003159	ダオニール錠1.25mg	2
12	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	620000032	カロナール細粒50%	1
13	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	621558101	SG配合顆粒	1
14	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	1
15	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	1
16	内服	610432027	スターシス錠90mg	内服	620872004	グリベンクラミド錠2.5mg「タイヨー」	1
17	内服	610444106	バチール錠100mg	内服	620002518	ジプレキサザイデリス錠5mg	1
18	内服	610444106	バチール錠100mg	内服	610451001	ジプレキサ錠2.5mg	1
19	内服	610444106	バチール錠100mg	内服	620005630	リスベリドン内用液分包1mg「アメル」 0.1%1mL	1
20	内服	610444106	バチール錠100mg	内服	620008163	リスベリドン内用液分包2mg「アメル」 0.1%2mL	1
21	内服	610444106	バチール錠100mg	内服	610453150	レボトミン錠5mg	1
22	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	620000032	カロナール細粒50%	1
23	内服	614310043	ヨウ化ナトリウムカプセル-1号 37MBq	内服	614310047	ヨウ化ナトリウムカプセル-5号 185MBq	1
24	内服	614310043	ヨウ化ナトリウムカプセル-1号 37MBq	内服	614310027	ヨードカプセル-123 3.7MBq	1
25	内服	614310047	ヨウ化ナトリウムカプセル-5号 185MBq	内服	614310027	ヨードカプセル-123 3.7MBq	1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リストは51件以上省略

(10) 服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起りやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起りやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起りやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関の受診があり6種類以上の薬剤を14日以上服薬している対象者は102人である。

薬剤種類数別対象者数

年齢階層	対象者数(人)									
	～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～	合計	
被保険者数(人)	236	78	70	82	96	217	467	546	1,792	
薬剤種類数	1種類	3	1	1	1	0	3	10	9	28
	2種類	0	2	1	0	2	3	14	19	41
	3種類	3	1	1	1	1	7	8	17	39
	4種類	0	1	1	2	2	2	20	12	40
	5種類	2	0	1	0	1	1	12	9	26
	6種類	0	1	1	1	0	2	9	9	23
	7種類	0	0	1	1	2	0	4	7	15
	8種類	1	0	0	0	0	1	4	13	19
	9種類	0	1	2	0	0	0	2	2	7
	10種類	0	1	0	0	2	2	3	6	14
	11種類	0	0	0	0	0	3	7	4	14
	12種類	1	0	0	1	0	1	0	1	4
	13種類	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	14種類	1	0	0	0	0	0	0	1	2
	15種類	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	16種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17種類	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	18種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	19種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21種類以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11	9	9	8	10	25	94	110	276	



長期多剤服薬者数(人)※	102
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

また、長期多剤服薬者102人が被保険者全体に占める割合は5.7%、長期服薬者全体に占める割合は37.0%である。

長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	236	78	70	82	96	217	467	546	1,792
B	長期服薬者数(人)※	11	9	9	8	10	25	94	110	276
C	長期多剤服薬者数(人)※	3	4	4	4	4	9	30	44	102
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	1.3%	5.1%	5.7%	4.9%	4.2%	4.1%	6.4%	8.1%	5.7%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	27.3%	44.4%	44.4%	50.0%	40.0%	36.0%	31.9%	40.0%	37.0%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期服薬者数…1種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

5. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	循環器系の疾患	126, 295, 204円
2位	新生物<腫瘍>	73, 844, 559円
3位	腎尿路生殖器系の疾患	69, 969, 672円

患者数が多い疾病		患者数
1位	消化器系の疾患	789人
2位	呼吸器系の疾患	756人
3位	循環器系の疾患	719人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	妊娠, 分娩及び産じょく	396, 093円
2位	腎尿路生殖器系の疾患	236, 384円
3位	新生物<腫瘍>	188, 379円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	腎不全	61, 500, 863円
2位	その他の心疾患	48, 611, 485円
3位	高血圧性疾患	32, 969, 234円

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	559人
2位	胃炎及び十二指腸炎	480人
3位	その他の消化器系の疾患	471人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	2, 023, 389円
2位	腎不全	1, 008, 211円
3位	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	539, 866円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	176件
高額レセプト件数割合	0.8%
高額レセプト医療費割合	34.3%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	7,454,245円
2位	その他の心疾患	6,360,179円
3位	その他の神経系の疾患	6,289,000円

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	83人
----------	-----

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	8人
------------	----

【人工透析患者の状況】

人工透析患者	14人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	12人

【Ⅱ型糖尿病の状況】

Ⅱ期	15人
Ⅲ期	15人
Ⅳ期	1人

【医療機関受診状況】

重複受診者	5人
頻回受診者	38人
重複服薬者	44人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	70.2%
--------------	-------

【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者	25人
-----------	-----

【服薬状況】

長期多剤服薬者	102人
---------	------

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題	対策
<p>●特定健康診査受診率及び状態不明者 特定健康診査未受診者は809名と対象者の半数以上であり、その中で状態不明者が494名と全体の37%も存在する。</p>	<p>特定健康診査の受診率向上を図る。</p>
<p>●生活習慣病による有病率及び特定保健指導実施率 特定健康診査受診者のうち、生活習慣病の有病者、予備群が54名存在している。 また、レセプトデータ分析による大分類及び中分類による疾病別医療費統計にて、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の患者数が多く、1人あたりの医療費も高いという結果が出ている。 それに対し、特定指導実施率は国・都平均を大きく下回っている。</p>	<p>対象者に特定保健指導を行うことにより、生活習慣病を予防する。 また、特定保健指導ではカバーできない部分について、国保だけではなく、広く住民を対象とした事業により啓発を行い、健康意識の高揚を図る。</p>
<p>●健診異常値放置者 健診受診者で、医療機関への受診勧奨を受けている者のうち、受診をしていない者（健診異常値放置者）が57名存在する。</p>	<p>対象者に医療機関への受診勧奨を行うことで、適切な医療につなぎ、病状の重症化を予防する。</p>
<p>●生活習慣病治療中断者 健診未受診者で、生活習慣病による投薬レセプトがある者のうち、受診をしていない者（生活習慣病治療中断者）が10名存在する。</p>	<p>対象者に医療機関への受診勧奨を行うことで、適切な医療につなぎ、病状の重症化を予防する。</p>
<p>●糖尿病性腎症重症化によるリスクの存在 レセプトデータ分析による大分類及び中分類による疾病別医療費統計にて、腎不全（中分類）が医療費総額全疾患中1位、1人あたりの医療費が2位であった。 しかし、人工透析患者は14人と少数であり、1人が罹患した際の医療費に与えるリスクは非常に大きい。</p>	<p>データ分析により抽出された、重症化予防に適切な早期腎症期（Ⅱ）、顕性腎症期（Ⅲ）の糖尿病患者のうち、生活習慣を指導することで重症化を遅延させることができる患者に対し、早期に保健指導を行い、生活習慣を改善することで、腎症の悪化を防ぐ。</p>
<p>●重複・頻回受診者、重複服薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が28名存在する。</p>	<p>対象者を正しい受診行動に導く指導を行う。</p>
<p>●ジェネリック医薬品の普及率 ジェネリック医薬品の普及率は72.4%（数量ベース）であり、国が定める現在の目標（80%以上）と比較して低い。</p>	<p>ジェネリック医薬品への切り替え勧奨を行い、普及率の上昇を図る。</p>
<p>●薬剤併用禁忌 薬剤併用禁忌対象者が25名存在する。</p>	<p>医療機関に情報提供し、併用禁忌となる薬剤の処方を防止する。</p>
<p>●服薬の状況 薬剤を6種類以上服薬している長期多剤服薬者が102名存在する。多剤服薬は副作用が起りやすく様々なリスクがある。</p>	<p>対象者に適正な服薬を促すため、指導を行う。</p>

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、第2章で分析抽出した、奥多摩町国保被保険者における健康課題の対策として、その影響の大きさ、改善の可能性、町の体制を総合的に考慮し以下の事業を実施する。

事業名	事業目的	事業概要
特定健康診査受診勧奨事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受けていない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。
糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。
特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、手紙等で行う。
健診異常値放置者受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

高

優先順位（費用対効果、対象者の規模、改善の可能性、緊急性）

低

ストラクチャー	プロセス	目標値	
		アウトプット	アウトカム
特定健康診査等実施計画に記載	特定健康診査等実施計画に記載	特定健康診査等実施計画に記載	特定健康診査等実施計画に記載
福祉保健課国保健康係が主体となり、医師会、医療機関、業務委託にて実施する場合は委託業者、庁内関係部署、周辺市町村などの関係機関と、必要に応じ、情報共有および連携が可能な体制を整える。	毎年6月末までに実施方法の検討を終え、8月末までに利用勧奨対象者を抽出する。 9月中に受診勧奨通知書を対象者に郵送し、申込みのない者には同月中に電話等による再勧奨を行う。 10月から3月までの6か月間、申込みのあった実施対象者に対し、適切な保健指導を行う。 指導完了後、かかりつけ医療機関での検査値及びアンケート等を用いた生活習慣改善状況を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の指導実施率 20%以上 事業の新規利用者 2名以上 	<ul style="list-style-type: none"> 【単年度】指導完了者の指導開始前から指導完了時までの期間における生活習慣改善率（自己申告）80%以上 【単年度】指導完了者の検査値改善率 50%以上 【3か年・6か年】新規人工透析患者割合 10%未満
特定健康診査等実施計画に記載	特定健康診査等実施計画に記載	特定健康診査等実施計画に記載	特定健康診査等実施計画に記載
福祉保健課国保健康係が主体となり実施する。	健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。 通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 対象者への通知率 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の医療機関受診率 50%以上
福祉保健課国保健康係が主体となり、委託業者と連携して実施する	ジェネリック医薬品差額通知書を作成し、郵送する。 対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 対象者への通知率 100% 	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)通知開始時平均より 5% 向上

2. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

(1) 特定健康診査受診勧奨事業

【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

事業概要等については「特定健康診査等実施計画」に記載する。

(2) 特定保健指導事業

【事業目的】

生活習慣病患者及び予備群の減少

【事業概要】

事業概要等については「特定健康診査等実施計画」に記載する。

(3) 糖尿病性腎症重症化予防事業

【事業目的】

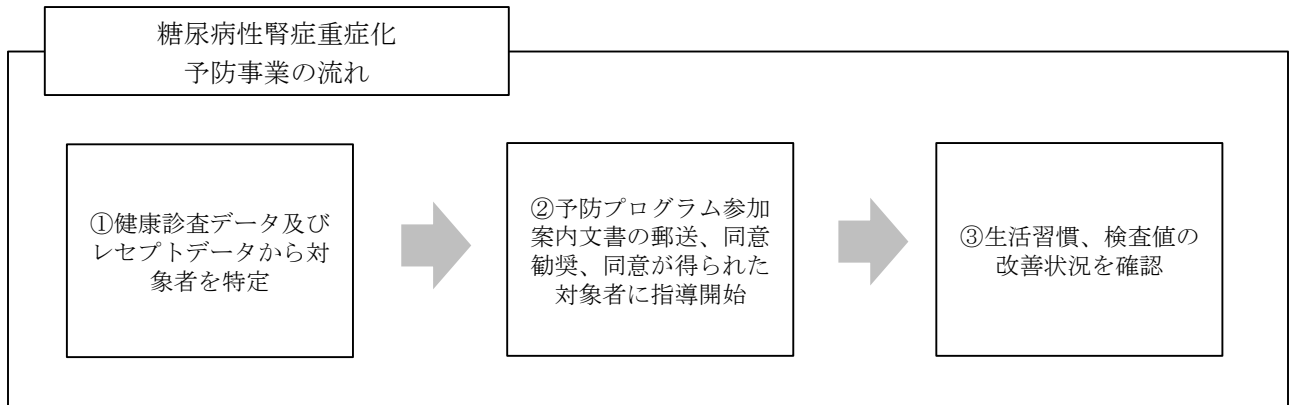
糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。

【実施内容】

平成29年度の保健事業支援・評価委員会からの助言を参考に日ごろの周知と通知の内容のわかりやすさに注意して取り組み、できる限りのフォローを行っていく。



【目標値及び評価方法】

ストラクチャー・プロセス及びアウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

ストラクチャー	プロセス
福祉保健課国保健康係が主体となり、医師会、医療機関、業務委託にて実施する場合は委託業者、庁内関係部署、周辺市町村などの関係機関と、必要に応じ、情報共有および連携が可能な体制を整える。	毎年6月末までに実施方法の検討を終え、8月末までに利用勧奨対象者を抽出する。 9月中に受診勧奨通知書を対象者に郵送し、申込みのない者には同月中に電話等による再勧奨を行う。 10月から3月までの6か月間、申込みのあった実施対象者に対し、適切な保健指導を行う。 指導完了後、かかりつけ医療機関での検査値及びアンケート等を用いた生活習慣改善状況を確認する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 20% 以上	短期	指導完了者の生活習慣改善率 80%以上 指導完了者の検査値改善率 50%以上
	中長期	平成32年度及び平成35年度における新規人工透析患者割合が当該年度の人工透析患者の10%未満 レセプトデータより新規人工透析患者数の推移を確認する。

(4) 健診異常値放置者受診勧奨事業

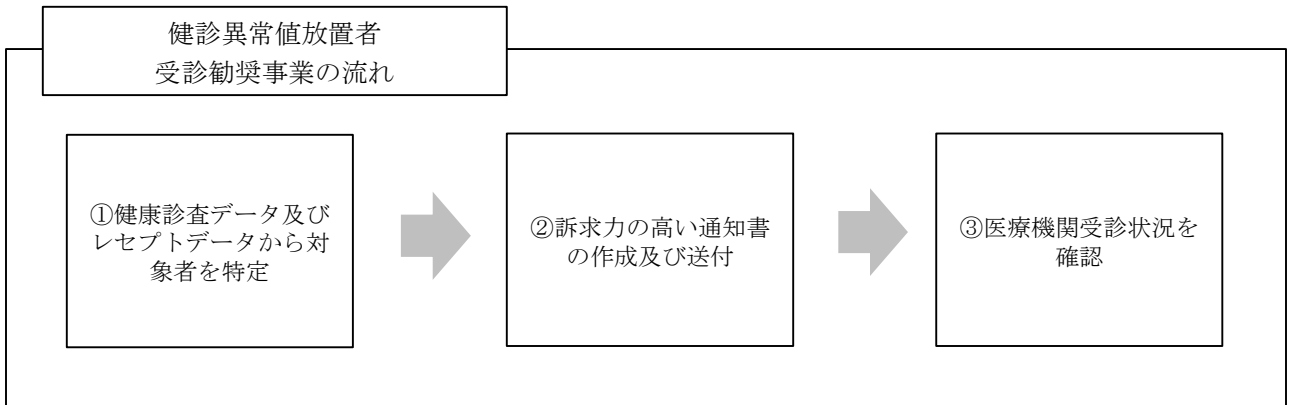
【事業目的】

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

【実施概要】

特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

ストラクチャー・プロセス及びアウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

ストラクチャー	プロセス
福祉保健課国保健康係が主体となり実施する。	健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。 通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	対象者の医療機関受診率 50%以上	通知後医療機関を受診したか確認する。

(5) ジェネリック医薬品差額通知事業

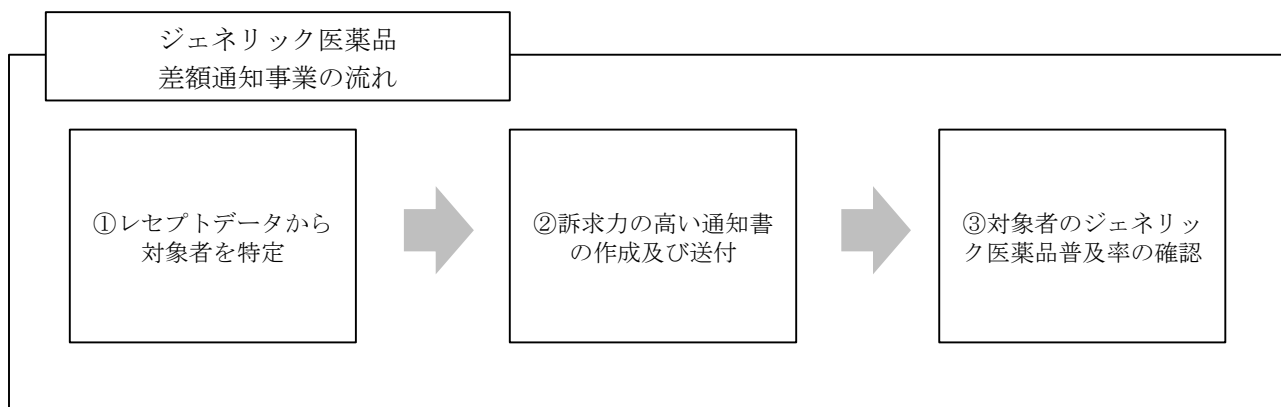
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

ストラクチャー・プロセス及びアウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

ストラクチャー	プロセス
福祉保健課国保健康係が主体となり、委託業者と連携して実施する。	ジェネリック医薬品差額通知書を作成し、郵送する。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討する。

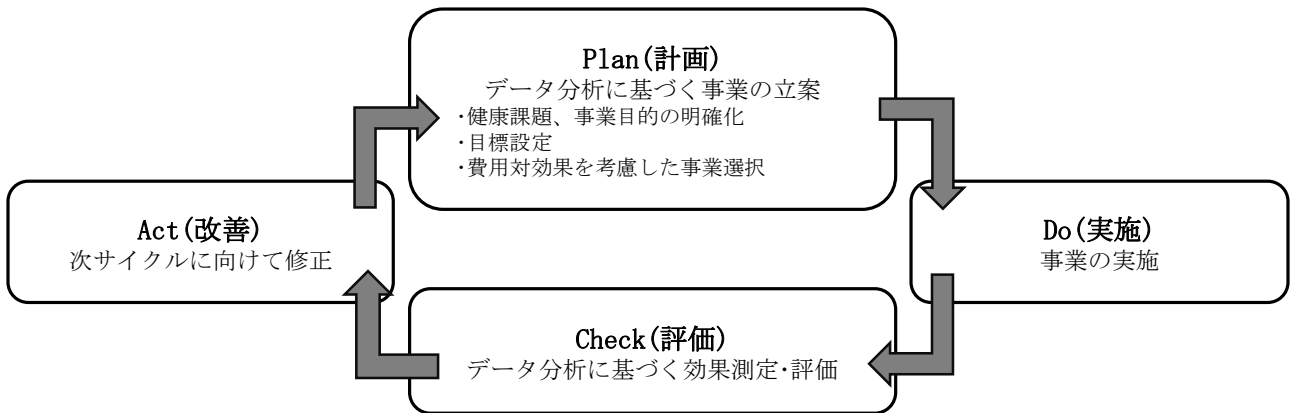
アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)通知開始時平均より5%向上	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)推移により確認する。

1. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととする。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

3. 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

中分類による疾病別医療費統計

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)		レセプト件数 ※		患者数 ※	
	583,579,830		23,004		1,433	

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	14,701,061	2.5%		1,490	6.5%		377	26.3%		38,995	
0101 腸管感染症	1,507,717	0.3%	63	324	1.4%	50	131	9.1%	34	11,509	84
0102 結核	317,109	0.1%	87	62	0.3%	93	23	1.6%	80	13,787	75
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	100,963	0.0%	103	64	0.3%	92	21	1.5%	85	4,808	108
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	736,234	0.1%	73	216	0.9%	57	60	4.2%	53	12,271	79
0105 ウイルス性肝炎	5,068,016	0.9%	31	117	0.5%	74	44	3.1%	62	115,182	15
0106 その他のウイルス性疾患	2,020,224	0.3%	52	29	0.1%	101	13	0.9%	94	155,402	11
0107 真菌症	2,127,495	0.4%	50	434	1.9%	43	90	6.3%	43	23,639	59
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
0109 その他の感染症及び寄生虫症	2,823,303	0.5%	47	420	1.8%	44	137	9.6%	33	20,608	61
II. 新生物<腫瘍>	73,844,559	12.7%		1,519	6.6%		392	27.4%		188,379	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	5,126,187	0.9%	30	209	0.9%	59	62	4.3%	51	82,680	21
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	5,731,647	1.0%	27	209	0.9%	59	93	6.5%	42	61,631	29
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	208,903	0.0%	95	23	0.1%	105	6	0.4%	104	34,817	43
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	257,154	0.0%	89	61	0.3%	94	22	1.5%	84	11,689	83
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	24,674,556	4.2%	5	172	0.7%	65	48	3.3%	57	514,053	4
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	1,775,258	0.3%	57	116	0.5%	75	28	2.0%	77	63,402	27
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	418,473	0.1%	78	49	0.2%	97	15	1.0%	92	27,898	54
0208 悪性リンパ腫	4,938,199	0.8%	32	39	0.2%	99	10	0.7%	98	493,820	5
0209 白血病	12,140,332	2.1%	13	24	0.1%	104	6	0.4%	104	2,023,389	1
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	13,937,423	2.4%	11	608	2.6%	39	179	12.5%	25	77,863	24
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	4,636,427	0.8%	35	419	1.8%	45	154	10.7%	30	30,107	50
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,867,790	0.7%		808	3.5%		207	14.4%		18,685	
0301 貧血	1,979,919	0.3%	53	681	3.0%	36	164	11.4%	28	12,073	81
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,887,871	0.3%	56	165	0.7%	67	65	4.5%	50	29,044	52
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	50,846,124	8.7%		8,326	36.2%		715	49.9%		71,113	
0401 甲状腺障害	1,940,597	0.3%	54	409	1.8%	46	116	8.1%	38	16,729	67
0402 糖尿病	25,907,693	4.4%	4	3,852	16.7%	4	406	28.3%	6	63,812	26
0403 脂質異常症	16,311,465	2.8%	9	5,184	22.5%	2	411	28.7%	5	39,687	38
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	6,686,369	1.1%	24	2,025	8.8%	10	233	16.3%	22	28,697	53
V. 精神及び行動の障害	39,153,266	6.7%		2,386	10.4%		218	15.2%		179,602	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	49,321	0.0%	109	6	0.0%	110	4	0.3%	109	12,330	78
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	229,267	0.0%	92	110	0.5%	77	12	0.8%	95	19,106	63
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	22,834,912	3.9%	6	778	3.4%	30	56	3.9%	54	407,766	6

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	583,579,830	23,004	1,433

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	9,214,299	1.6%	18	1,190	5.2%	22	88	6.1%	45	104,708	17
0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	3,073,975	0.5%	44	1,306	5.7%	19	131	9.1%	34	23,465	60
0506	知的障害<精神遅滞>	19,450	0.0%	112	5	0.0%	111	3	0.2%	110	6,483	101
0507	その他の精神及び行動の障害	3,732,042	0.6%	39	247	1.1%	55	29	2.0%	76	128,691	13
VI. 神経系の疾患		18,509,845	3.2%		3,958	17.2%		377	26.3%		49,098	
0601	パーキンソン病	1,339,426	0.2%	65	204	0.9%	61	17	1.2%	89	78,790	23
0602	アルツハイマー病	395,120	0.1%	82	59	0.3%	95	5	0.3%	107	79,024	22
0603	てんかん	5,212,737	0.9%	28	613	2.7%	38	54	3.8%	55	96,532	20
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	399,242	0.1%	80	46	0.2%	98	10	0.7%	98	39,924	37
0605	自律神経系の障害	61,242	0.0%	108	74	0.3%	90	8	0.6%	101	7,655	95
0606	その他の神経系の疾患	11,102,078	1.9%	16	3,312	14.4%	5	332	23.2%	10	33,440	47
VII. 眼及び付属器の疾患		25,997,826	4.5%		3,077	13.4%		523	36.5%		49,709	
0701	結膜炎	1,652,026	0.3%	59	1,172	5.1%	23	273	19.1%	15	6,051	103
0702	白内障	7,274,826	1.2%	23	1,679	7.3%	16	249	17.4%	17	29,216	51
0703	屈折及び調節の障害	1,617,153	0.3%	60	2,027	8.8%	9	380	26.5%	7	4,256	110
0704	その他の眼及び付属器の疾患	15,453,821	2.6%	10	2,333	10.1%	7	350	24.4%	8	44,154	34
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		1,200,525	0.2%		364	1.6%		93	6.5%		12,909	
0801	外耳炎	62,633	0.0%	107	76	0.3%	88	23	1.6%	80	2,723	114
0802	その他の外耳疾患	94,213	0.0%	105	51	0.2%	96	23	1.6%	80	4,096	111
0803	中耳炎	152,113	0.0%	99	84	0.4%	84	21	1.5%	85	7,243	96
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	115,870	0.0%	101	81	0.4%	85	15	1.0%	92	7,725	94
0805	メニエール病	359,217	0.1%	85	130	0.6%	72	23	1.6%	80	15,618	72
0806	その他の内耳疾患	191,909	0.0%	96	27	0.1%	102	12	0.8%	95	15,992	71
0807	その他の耳疾患	224,570	0.0%	93	105	0.5%	78	35	2.4%	71	6,416	102
IX. 循環器系の疾患		126,295,204	21.6%		8,980	39.0%		719	50.2%		175,654	
0901	高血圧性疾患	32,969,234	5.6%	3	7,680	33.4%	1	559	39.0%	1	58,979	30
0902	虚血性心疾患	20,540,412	3.5%	8	1,772	7.7%	14	174	12.1%	27	118,048	14
0903	その他の心疾患	48,611,485	8.3%	2	1,809	7.9%	13	237	16.5%	21	205,112	7
0904	くも膜下出血	42,408	0.0%	110	8	0.0%	109	5	0.3%	107	8,482	92
0905	脳内出血	7,351,577	1.3%	22	134	0.6%	69	44	3.1%	62	167,081	9
0906	脳梗塞	9,000,585	1.5%	19	771	3.4%	31	87	6.1%	46	103,455	18
0907	脳動脈硬化(症)	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
0908	その他の脳血管疾患	4,704,572	0.8%	34	170	0.7%	66	26	1.8%	79	180,945	8
0909	動脈硬化(症)	771,723	0.1%	72	292	1.3%	52	48	3.3%	57	16,078	70
0911	低血圧(症)	95,883	0.0%	104	95	0.4%	80	9	0.6%	100	10,654	85
0912	その他の循環器系の疾患	2,207,325	0.4%	49	561	2.4%	41	115	8.0%	40	19,194	62
X. 呼吸器系の疾患		32,131,272	5.5%		3,768	16.4%		756	52.8%		42,502	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	151,626	0.0%	100	95	0.4%	80	42	2.9%	64	3,610	113
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	823,808	0.1%	71	371	1.6%	48	177	12.4%	26	4,654	109
1003	その他の急性上気道感染症	1,578,035	0.3%	61	852	3.7%	27	275	19.2%	14	5,738	104

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	583,579,830	23,004	1,433

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当りの医療費(円)	順位
1004	肺炎	3,292,758	0.6%	43	187	0.8%	63	77	5.4%	47	42,763	35
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,907,505	0.3%	55	765	3.3%	32	281	19.6%	13	6,788	99
1006	アレルギー性鼻炎	3,067,625	0.5%	45	1,168	5.1%	24	290	20.2%	12	10,578	87
1007	慢性副鼻腔炎	159,671	0.0%	98	126	0.5%	73	30	2.1%	74	5,322	106
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	390,521	0.1%	83	91	0.4%	82	32	2.2%	73	12,204	80
1009	慢性閉塞性肺疾患	2,724,795	0.5%	48	465	2.0%	42	54	3.8%	55	50,459	31
1010	喘息	4,552,070	0.8%	36	862	3.7%	25	118	8.2%	37	38,577	39
1011	その他の呼吸器系の疾患	13,482,858	2.3%	12	594	2.6%	40	213	14.9%	24	63,300	28
X I . 消化器系の疾患		39,782,981	6.8%		6,525	28.4%		789	55.1%		50,422	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	9,465	0.0%	113	1	0.0%	114	1	0.1%	113	9,465	90
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	4,607	0.0%	115	3	0.0%	112	2	0.1%	111	2,304	115
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3,631,777	0.6%	41	1,373	6.0%	18	149	10.4%	32	24,374	57
1105	胃炎及び十二指腸炎	6,297,937	1.1%	25	2,626	11.4%	6	480	33.5%	2	13,121	77
1106	痔核	598,549	0.1%	76	131	0.6%	71	37	2.6%	69	16,177	69
1107	アルコール性肝疾患	396,760	0.1%	81	12	0.1%	108	6	0.4%	104	66,127	25
1108	慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	413,148	0.1%	79	201	0.9%	62	39	2.7%	67	10,594	86
1109	肝硬変 (アルコール性のものを除く)	639,924	0.1%	75	75	0.3%	89	16	1.1%	90	39,995	36
1110	その他の肝疾患	589,654	0.1%	77	273	1.2%	53	90	6.3%	43	6,552	100
1111	胆石症及び胆のう炎	4,805,226	0.8%	33	136	0.6%	68	36	2.5%	70	133,479	12
1112	膵疾患	276,409	0.0%	88	80	0.3%	86	20	1.4%	87	13,820	74
1113	その他の消化器系の疾患	22,119,525	3.8%	7	4,243	18.4%	3	471	32.9%	3	46,963	32
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		11,608,319	2.0%		2,024	8.8%		457	31.9%		25,401	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	2,061,782	0.4%	51	210	0.9%	58	67	4.7%	49	30,773	49
1202	皮膚炎及び湿疹	5,872,533	1.0%	26	1,470	6.4%	17	339	23.7%	9	17,323	66
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	3,674,004	0.6%	40	853	3.7%	26	220	15.4%	23	16,700	68
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		43,550,742	7.5%		5,949	25.9%		712	49.7%		61,167	
1301	炎症性多発性関節障害	3,960,281	0.7%	38	701	3.0%	35	103	7.2%	41	38,449	40
1302	関節症	8,642,710	1.5%	20	1,882	8.2%	12	245	17.1%	18	35,276	42
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	10,790,871	1.8%	17	1,771	7.7%	15	242	16.9%	20	44,590	33
1304	椎間板障害	1,071,496	0.2%	68	267	1.2%	54	41	2.9%	65	26,134	55
1305	頰腕症候群	346,545	0.1%	86	319	1.4%	51	38	2.7%	68	9,120	91
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	3,565,741	0.6%	42	2,003	8.7%	11	305	21.3%	11	11,691	82
1307	その他の脊柱障害	365,187	0.1%	84	224	1.0%	56	47	3.3%	59	7,770	93
1308	肩の傷害<損傷>	1,224,806	0.2%	66	757	3.3%	33	116	8.1%	38	10,559	88
1309	骨の密度及び構造の障害	5,143,355	0.9%	29	1,287	5.6%	20	153	10.7%	31	33,617	46
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	8,439,750	1.4%	21	1,266	5.5%	21	268	18.7%	16	31,492	48

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	583,579,830	23,004	1,433

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	69,969,672	12.0%		1,970	8.6%		296	20.7%		236,384	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	1,767,352	0.3%	58	185	0.8%	64	47	3.3%	59	37,603	41
1402 腎不全	61,500,863	10.5%	1	808	3.5%	29	61	4.3%	52	1,008,211	2
1403 尿路結石症	670,486	0.1%	74	79	0.3%	87	28	2.0%	77	23,946	58
1404 その他の腎尿路系の疾患	2,830,557	0.5%	46	712	3.1%	34	162	11.3%	29	17,473	65
1405 前立腺肥大(症)	1,537,543	0.3%	62	389	1.7%	47	45	3.1%	61	34,168	44
1406 その他の男性生殖器系の疾患	40,966	0.0%	111	37	0.2%	100	11	0.8%	97	3,724	112
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	238,397	0.0%	91	91	0.4%	82	16	1.1%	90	14,900	73
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	1,383,508	0.2%	64	115	0.5%	76	41	2.9%	65	33,744	45
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	1,188,278	0.2%		21	0.1%		3	0.2%		396,093	
1501 流産	5,580	0.0%	114	1	0.0%	114	1	0.1%	113	5,580	105
1502 妊娠高血圧症候群	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1503 単胎自然分娩	102,966	0.0%	102	1	0.0%	114	1	0.1%	113	102,966	19
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	1,079,732	0.2%	67	20	0.1%	106	2	0.1%	111	539,866	3
XVI. 周産期に発生した病態	1,620	0.0%		2	0.0%		1	0.1%		1,620	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1602 その他の周産期に発生した病態	1,620	0.0%	116	2	0.0%	113	1	0.1%	113	1,620	116
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	209,767	0.0%		132	0.6%		30	2.1%		6,992	
1701 心臓の先天奇形	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	209,767	0.0%	94	132	0.6%	70	30	2.1%	74	6,992	97
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,966,004	2.1%		2,099	9.1%		461	32.2%		25,957	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,966,004	2.1%	15	2,099	9.1%	8	461	32.2%	4	25,957	56
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	17,678,066	3.0%		1,027	4.5%		315	22.0%		56,121	
1901 骨折	12,050,934	2.1%	14	346	1.5%	49	77	5.4%	47	156,506	10
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	879,283	0.2%	69	26	0.1%	103	8	0.6%	101	109,910	16
1903 熱傷及び腐食	76,335	0.0%	106	17	0.1%	107	8	0.6%	101	9,542	89
1904 中毒	178,160	0.0%	97	70	0.3%	91	35	2.4%	71	5,090	107
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	4,493,354	0.8%	37	657	2.9%	37	245	17.1%	18	18,340	64
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	836,703	0.1%		850	3.7%		120	8.4%		6,973	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を **網掛け** 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を **網掛け** 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	583,579,830	23,004	1,433

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	836,703	0.1%	70	850	3.7%	28	120	8.4%	36	6,973	98
X X II . 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		240,206	0.0%		96	0.4%		18	1.3%		13,345	
9999	分類外	240,206	0.0%	90	96	0.4%	79	18	1.3%	88	13,345	76

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

地区分析

1. 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

古里	氷川	小河内	その他
----	----	-----	-----

【古里】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	10,335,876	3.2%	10	868	12	203	10	50,916	8
II. 新生物<腫瘍>	26,315,739	8.1%	4	755	13	212	9	124,131	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,334,294	0.4%	15	501	15	122	14	10,937	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	28,243,859	8.7%	3	4,409	2	388	4	72,793	5
V. 精神及び行動の障害	24,158,252	7.5%	6	1,209	8	109	15	221,635	2
VI. 神経系の疾患	8,747,212	2.7%	11	2,106	6	202	11	43,303	11
VII. 眼及び付属器の疾患	13,788,034	4.3%	9	1,679	7	301	6	45,807	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	853,651	0.3%	16	231	17	52	17	16,416	15
IX. 循環器系の疾患	81,424,901	25.2%	1	4,702	1	379	5	214,841	3
X. 呼吸器系の疾患	15,751,927	4.9%	8	2,191	5	443	1	35,557	12
X I. 消化器系の疾患 ※	22,481,870	6.9%	7	3,484	3	437	2	51,446	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,008,500	1.5%	14	1,036	11	249	7	20,114	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	24,190,767	7.5%	5	3,341	4	398	3	60,781	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	45,726,636	14.1%	2	1,098	10	163	13	280,532	1
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	5,580	0.0%	20	1	20	1	20	5,580	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	122,017	0.0%	19	78	19	16	18	7,626	18
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,274,407	1.9%	13	1,165	9	247	8	25,402	13
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	8,192,274	2.5%	12	541	14	172	12	47,630	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	307,046	0.1%	17	415	16	67	16	4,583	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	218,308	0.1%	18	88	18	14	19	15,593	16
合計	323,481,150			12,758		778		415,786	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

古里	氷川	小河内	その他
----	----	-----	-----

【氷川】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,976,480	1.9%	14	509	13	140	11	28,403	13
II. 新生物<腫瘍>	31,748,064	15.2%	2	596	12	144	9	220,473	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,840,073	0.9%	15	256	16	69	15	26,668	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	18,880,661	9.0%	3	3,499	2	283	3	66,716	6
V. 精神及び行動の障害	13,364,648	6.4%	8	980	8	87	14	153,617	4
VI. 神経系の疾患	8,043,296	3.8%	10	1,562	5	143	10	56,247	9
VII. 眼及び付属器の疾患	8,884,329	4.2%	9	1,214	7	199	6	44,645	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	321,302	0.2%	18	119	17	35	17	9,180	18
IX. 循環器系の疾患	42,211,336	20.2%	1	3,841	1	296	2	142,606	5
X. 呼吸器系の疾患	14,978,092	7.2%	6	1,327	6	265	5	56,521	7
X I. 消化器系の疾患 ※	14,396,654	6.9%	7	2,553	3	301	1	47,829	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	4,153,478	2.0%	13	824	9	183	7	22,697	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	15,223,485	7.3%	5	2,297	4	270	4	56,383	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	18,721,169	9.0%	4	734	11	110	13	170,192	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,182,698	0.6%	16	20	19	2	20	591,349	1
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,620	0.0%	21	2	21	1	21	1,620	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	83,625	0.0%	19	52	18	13	18	6,433	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,743,347	2.3%	12	800	10	181	8	26,206	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5,864,117	2.8%	11	390	14	119	12	49,278	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	496,068	0.2%	17	353	15	44	16	11,274	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	10,698	0.0%	20	6	20	3	19	3,566	20
合計	209,125,240			8,810		560		373,438	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

古里	氷川	小河内	その他
----	----	-----	-----

【小河内】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	239,732	0.8%	15	79	13	18	9	13,318	14
II. 新生物<腫瘍>	5,294,982	16.9%	2	102	9	22	6	240,681	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	440,539	1.4%	12	32	16	10	14	44,054	10
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,745,786	8.8%	6	342	1	33	1	83,206	6
V. 精神及び行動の障害	570,245	1.8%	11	60	15	7	16	81,464	7
VI. 神経系の疾患	743,015	2.4%	9	139	6	19	8	39,106	11
VII. 眼及び付属器の疾患	3,265,032	10.4%	5	157	5	15	12	217,669	4
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	15,342	0.0%	17	11	17	4	17	3,836	17
IX. 循環器系の疾患	2,193,204	7.0%	7	338	2	29	4	75,628	8
X. 呼吸器系の疾患	641,284	2.1%	10	134	7	25	5	25,651	12
X I. 消化器系の疾患 ※	1,634,765	5.2%	8	308	3	33	1	49,538	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	262,588	0.8%	14	96	10	12	13	21,882	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	3,931,272	12.6%	3	258	4	32	3	122,852	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	5,464,763	17.5%	1	115	8	16	10	341,548	1
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	0	0.0%		0		0		0	
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	264,177	0.8%	13	85	11	22	6	12,008	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,529,305	11.3%	4	73	14	16	10	220,582	3
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	33,589	0.1%	16	82	12	9	15	3,732	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	11,200	0.0%	18	2	18	1	18	11,200	16
合計	31,280,820			938		60		521,347	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

古里	氷川	小河内	その他
----	----	-----	-----

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	148,973	0.8%	12	34	11	16	3	9,311	13
II. 新生物<腫瘍>	10,485,774	53.2%	1	66	8	14	6	748,984	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	252,884	1.3%	10	19	15	6	15	42,147	8
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	975,818	5.0%	6	76	6	11	10	88,711	3
V. 精神及び行動の障害	1,060,121	5.4%	4	137	3	15	4	70,675	5
VI. 神経系の疾患	976,322	5.0%	5	151	2	13	7	75,102	4
VII. 眼及び付属器の疾患	60,431	0.3%	14	27	12	8	12	7,554	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	10,230	0.1%	16	3	16	2	16	5,115	16
IX. 循環器系の疾患	465,763	2.4%	9	99	5	15	4	31,051	10
X. 呼吸器系の疾患	759,969	3.9%	7	116	4	23	1	33,042	9
X I. 消化器系の疾患 ※	1,269,692	6.4%	3	180	1	18	2	70,538	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,183,753	11.1%	2	68	7	13	7	167,981	2
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	205,218	1.0%	11	53	9	12	9	17,102	11
X IV. 腎尿路生殖生殖器系の疾患	57,104	0.3%	15	23	13	7	14	8,158	14
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,125	0.0%	17	2	17	1	17	4,125	17
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	684,073	3.5%	8	49	10	11	10	62,188	7
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	92,370	0.5%	13	23	13	8	12	11,546	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0.0%		0		0		0	
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	19,692,620			498		35		562,646	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

2. 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

古里	氷川	小河内	その他
----	----	-----	-----

【古里】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	41,096,269	12.7%	33
2	0903	その他の心疾患	38,995,259	12.1%	133
3	0901	高血圧性疾患	18,188,496	5.6%	286
4	0402	糖尿病	14,434,199	4.5%	222
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	13,998,673	4.3%	26
6	1113	その他の消化器系の疾患	12,779,693	4.0%	253
7	0902	虚血性心疾患	11,420,832	3.5%	88
8	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	9,183,016	2.8%	96
9	0403	脂質異常症	9,142,687	2.8%	219
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	8,000,460	2.5%	200

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【氷川】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	15,263,829	7.3%	25
2	0901	高血圧性疾患	12,877,139	6.2%	244
3	0209	白血病	10,462,756	5.0%	3
4	0402	糖尿病	10,052,868	4.8%	166
5	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	9,928,388	4.7%	21
6	0903	その他の心疾患	9,279,056	4.4%	92
7	0902	虚血性心疾患	8,879,643	4.2%	76
8	1113	その他の消化器系の疾患	7,742,155	3.7%	185
9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	7,652,084	3.7%	19
10	0906	脳梗塞	6,564,071	3.1%	36

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

2. 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

古里	氷川	小河内	その他
----	----	-----	-----

【小河内】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	5,140,765	16.4%	3
2	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	3,128,667	10.0%	13
3	1901 骨折	2,379,066	7.6%	7
4	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	2,353,971	7.5%	2
5	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	2,289,360	7.3%	5
6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1,981,410	6.3%	12
7	0901 高血圧性疾患	1,680,353	5.4%	23
8	0402 糖尿病	1,359,633	4.3%	12
9	1113 その他の消化器系の疾患	1,253,715	4.0%	19
10	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	1,150,239	3.7%	11

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	7,865,234	39.9%	5
2	1202 皮膚炎及び湿疹	2,104,382	10.7%	10
3	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	1,565,066	7.9%	4
4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	750,745	3.8%	9
5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	725,132	3.7%	5
6	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	714,970	3.6%	5
7	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	684,073	3.5%	11
8	0606 その他の神経系の疾患	558,971	2.8%	12
9	1111 胆石症及び胆のう炎	553,584	2.8%	1
10	0603 てんかん	417,351	2.1%	3

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

古里	氷川	小河内	その他
----	----	-----	-----

【古里】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	18,188,496	286	36.8%
2	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,930,792	280	36.0%
3	1113	その他の消化器系の疾患	12,779,693	253	32.5%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,274,407	247	31.7%
5	0402	糖尿病	14,434,199	222	28.5%
6	0403	脂質異常症	9,142,687	219	28.1%
7	0703	屈折及び調節の障害	831,205	212	27.2%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	8,000,460	200	25.7%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	1,841,217	190	24.4%
10	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,246,005	183	23.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【氷川】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	12,877,139	244	43.6%
2	1113	その他の消化器系の疾患	7,742,155	185	33.0%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,743,347	181	32.3%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	3,021,930	169	30.2%
5	0403	脂質異常症	6,255,327	168	30.0%
6	0402	糖尿病	10,052,868	166	29.6%
7	0703	屈折及び調節の障害	685,263	150	26.8%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	5,461,119	136	24.3%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	1,685,393	129	23.0%
10	0606	その他の神経系の疾患	4,002,736	125	22.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

古里	氷川	小河内	その他
----	----	-----	-----

【小河内】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	1,680,353	23	38.3%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	264,177	22	36.7%
2	1105 胃炎及び十二指腸炎	238,638	22	36.7%
4	0403 脂質異常症	758,498	20	33.3%
5	1113 その他の消化器系の疾患	1,253,715	19	31.7%
6	0606 その他の神経系の疾患	657,901	18	30.0%
7	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	585,867	17	28.3%
8	1306 腰痛症及び坐骨神経痛	177,869	16	26.7%
9	0703 屈折及び調節の障害	83,802	14	23.3%
10	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	3,128,667	13	21.7%
10	1302 関節症	290,447	13	21.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	1113 その他の消化器系の疾患	343,962	14	40.0%
2	0606 その他の神経系の疾患	558,971	12	34.3%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	684,073	11	31.4%
4	1202 皮膚炎及び湿疹	2,104,382	10	28.6%
4	1006 アレルギー性鼻炎	120,929	10	28.6%
6	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	750,745	9	25.7%
6	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	221,853	9	25.7%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	106,577	9	25.7%
9	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	205,431	8	22.9%
9	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	92,370	8	22.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

年度別 特定健康診査結果分析

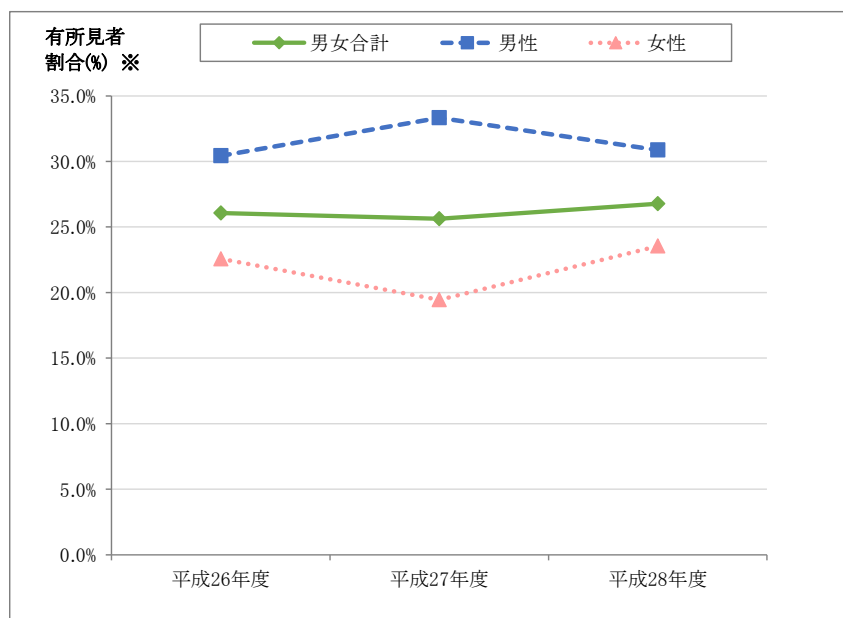
1. 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	518	519	523
	有所見者数(人) ※	135	133	140
	有所見者割合(%) ※	26.1%	25.6%	26.8%
男性	対象者数(人) ※	230	231	230
	有所見者数(人) ※	70	77	71
	有所見者割合(%) ※	30.4%	33.3%	30.9%
女性	対象者数(人) ※	288	288	293
	有所見者数(人) ※	65	56	69
	有所見者割合(%) ※	22.6%	19.4%	23.5%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

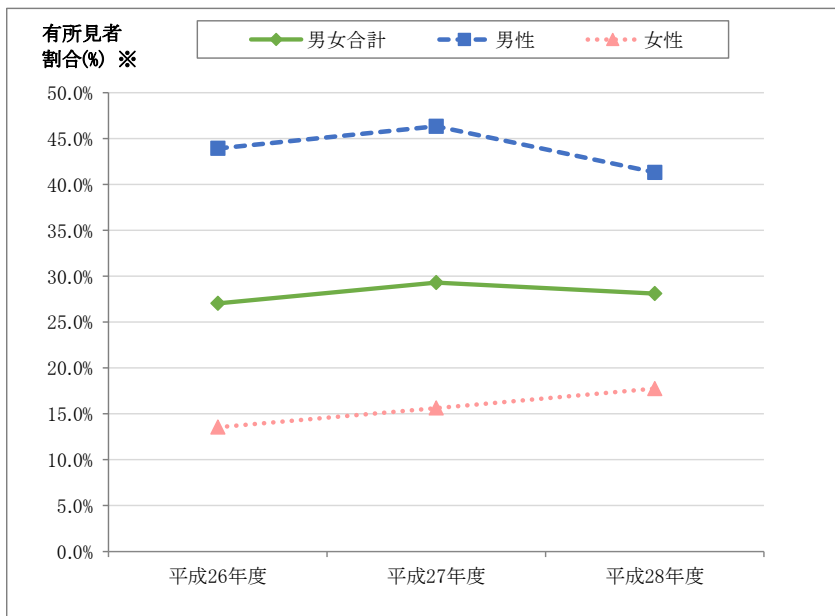
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	518	519	523
	有所見者数(人) ※	140	152	147
	有所見者割合(%) ※	27.0%	29.3%	28.1%
男性	対象者数(人) ※	230	231	230
	有所見者数(人) ※	101	107	95
	有所見者割合(%) ※	43.9%	46.3%	41.3%
女性	対象者数(人) ※	288	288	293
	有所見者数(人) ※	39	45	52
	有所見者割合(%) ※	13.5%	15.6%	17.7%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

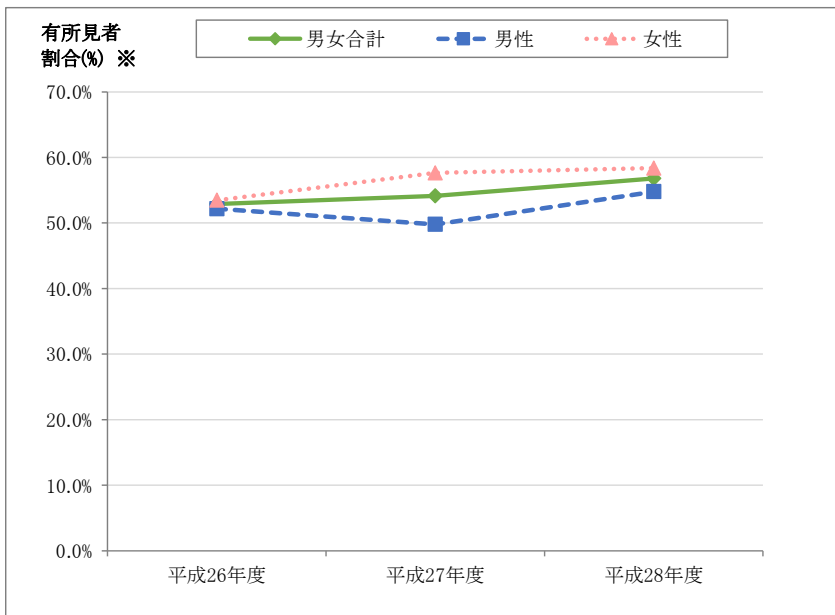
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲: 男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	518	519	523
	有所見者数(人) ※	274	281	297
	有所見者割合(%) ※	52.9%	54.1%	56.8%
男性	対象者数(人) ※	230	231	230
	有所見者数(人) ※	120	115	126
	有所見者割合(%) ※	52.2%	49.8%	54.8%
女性	対象者数(人) ※	288	288	293
	有所見者数(人) ※	154	166	171
	有所見者割合(%) ※	53.5%	57.6%	58.4%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

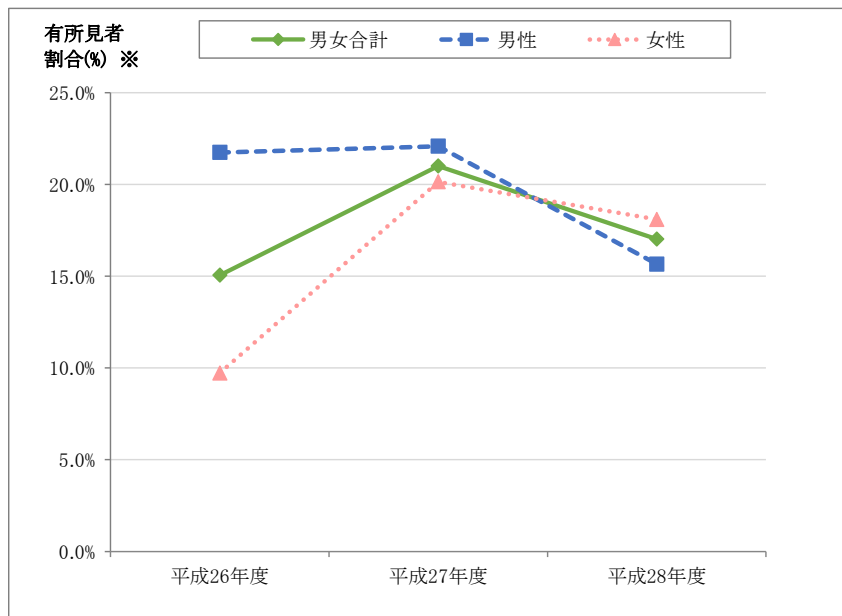
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	518	519	523
	有所見者数(人) ※	78	109	89
	有所見者割合(%) ※	15.1%	21.0%	17.0%
男性	対象者数(人) ※	230	231	230
	有所見者数(人) ※	50	51	36
	有所見者割合(%) ※	21.7%	22.1%	15.7%
女性	対象者数(人) ※	288	288	293
	有所見者数(人) ※	28	58	53
	有所見者割合(%) ※	9.7%	20.1%	18.1%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

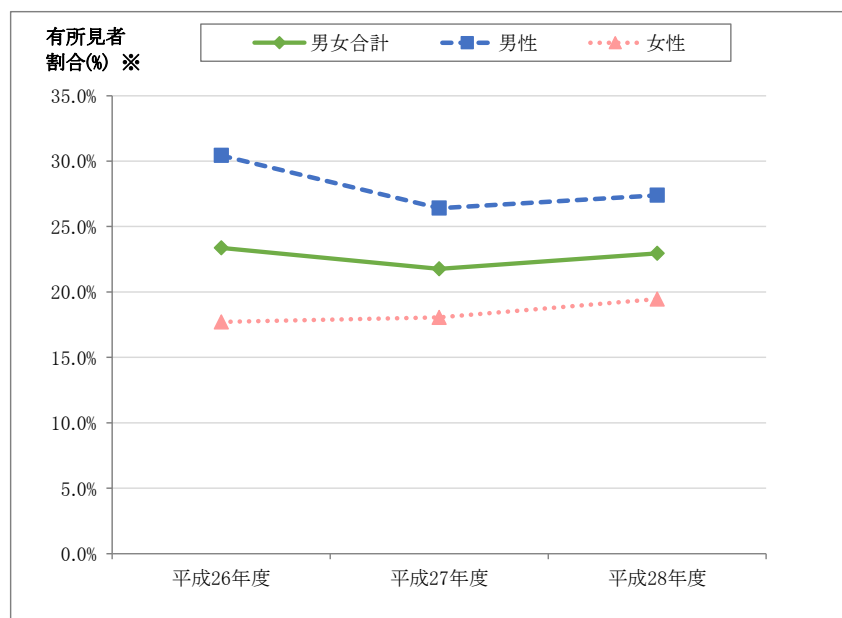
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	518	519	523
	有所見者数(人) ※	121	113	120
	有所見者割合(%) ※	23.4%	21.8%	22.9%
男性	対象者数(人) ※	230	231	230
	有所見者数(人) ※	70	61	63
	有所見者割合(%) ※	30.4%	26.4%	27.4%
女性	対象者数(人) ※	288	288	293
	有所見者数(人) ※	51	52	57
	有所見者割合(%) ※	17.7%	18.1%	19.5%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

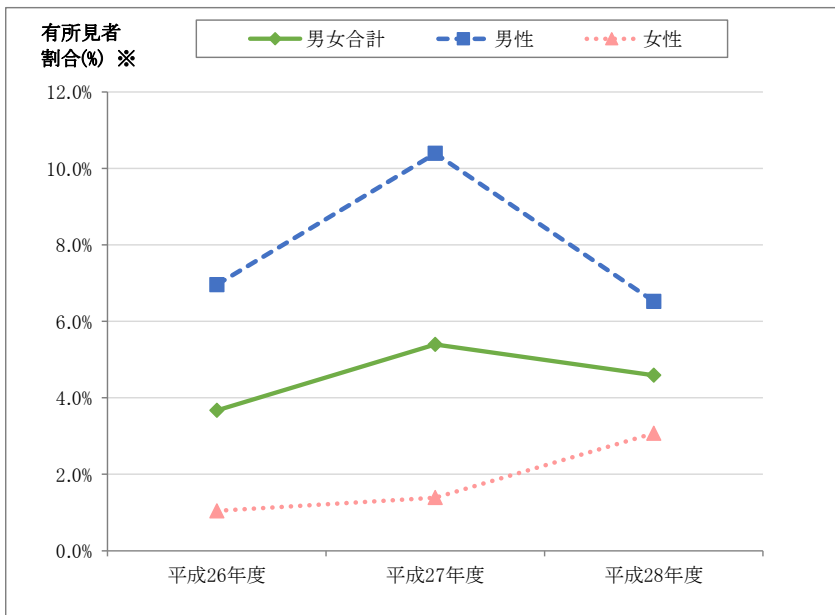
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	518	519	523
	有所見者数(人) ※	19	28	24
	有所見者割合(%) ※	3.7%	5.4%	4.6%
男性	対象者数(人) ※	230	231	230
	有所見者数(人) ※	16	24	15
	有所見者割合(%) ※	7.0%	10.4%	6.5%
女性	対象者数(人) ※	288	288	293
	有所見者数(人) ※	3	4	9
	有所見者割合(%) ※	1.0%	1.4%	3.1%

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

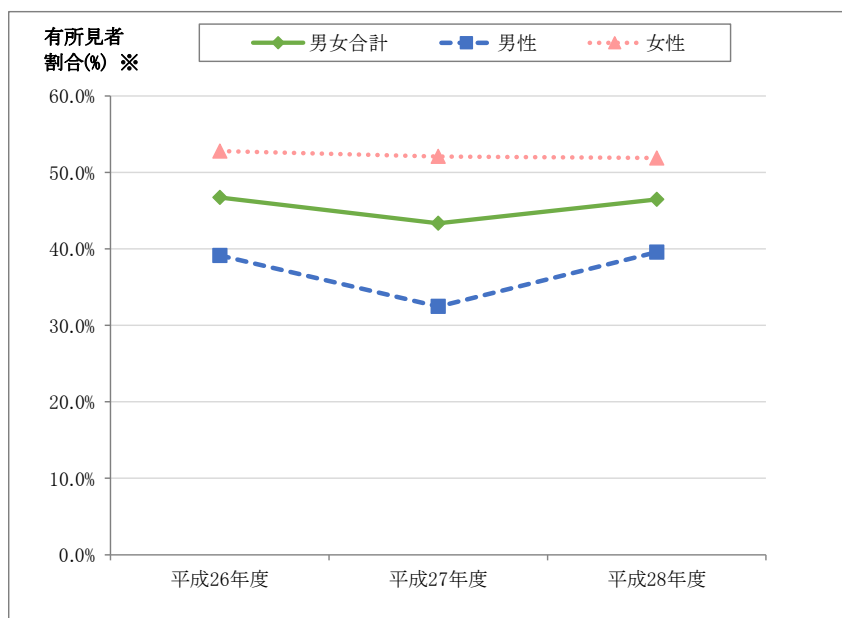
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	518	519	523
	有所見者数(人) ※	242	225	243
	有所見者割合(%) ※	46.7%	43.4%	46.5%
男性	対象者数(人) ※	230	231	230
	有所見者数(人) ※	90	75	91
	有所見者割合(%) ※	39.1%	32.5%	39.6%
女性	対象者数(人) ※	288	288	293
	有所見者数(人) ※	152	150	152
	有所見者割合(%) ※	52.8%	52.1%	51.9%

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

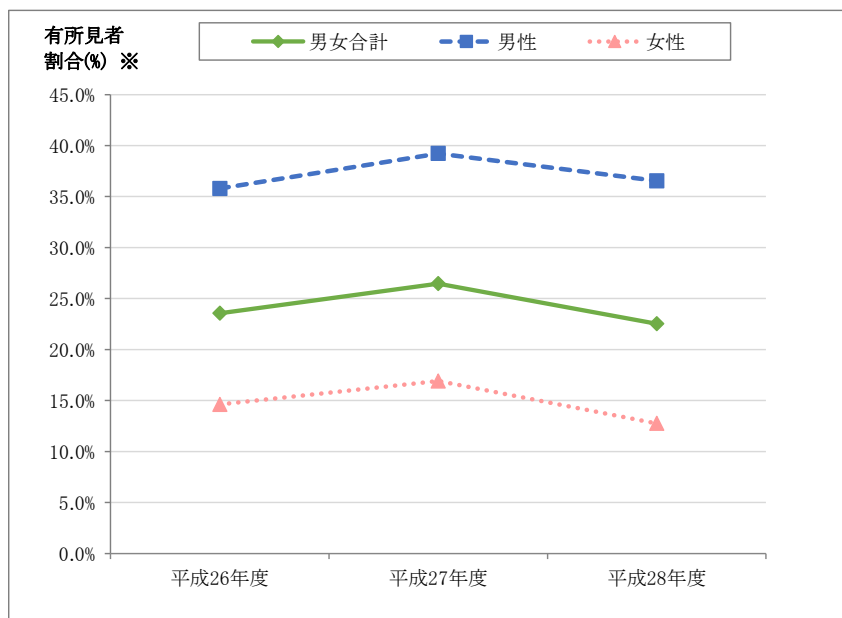
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	225	238	253
	有所見者数(人) ※	53	63	57
	有所見者割合(%) ※	23.6%	26.5%	22.5%
男性	対象者数(人) ※	95	102	104
	有所見者数(人) ※	34	40	38
	有所見者割合(%) ※	35.8%	39.2%	36.5%
女性	対象者数(人) ※	130	136	149
	有所見者数(人) ※	19	23	19
	有所見者割合(%) ※	14.6%	16.9%	12.8%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

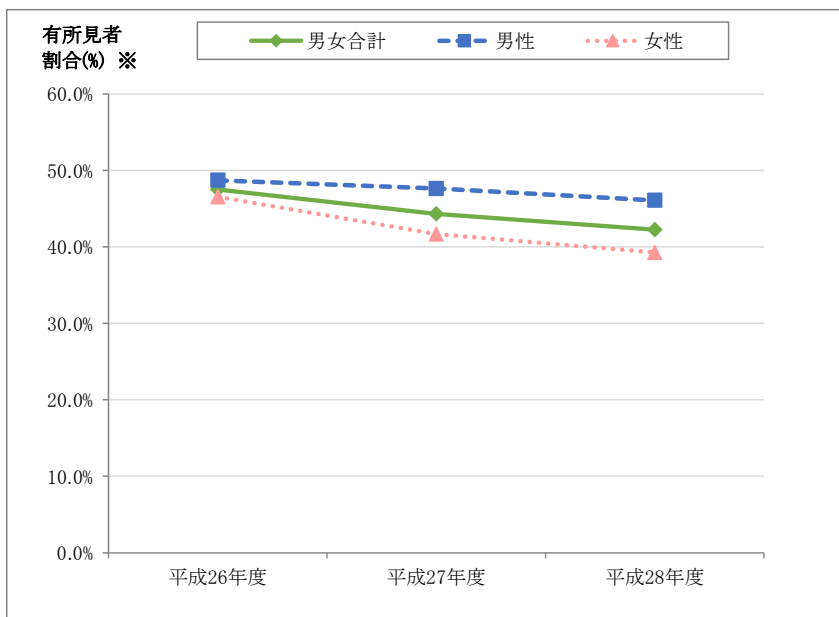
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	518	519	523
	有所見者数(人) ※	246	230	221
	有所見者割合(%) ※	47.5%	44.3%	42.3%
男性	対象者数(人) ※	230	231	230
	有所見者数(人) ※	112	110	106
	有所見者割合(%) ※	48.7%	47.6%	46.1%
女性	対象者数(人) ※	288	288	293
	有所見者数(人) ※	134	120	115
	有所見者割合(%) ※	46.5%	41.7%	39.2%

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

2. 質問別回答状況

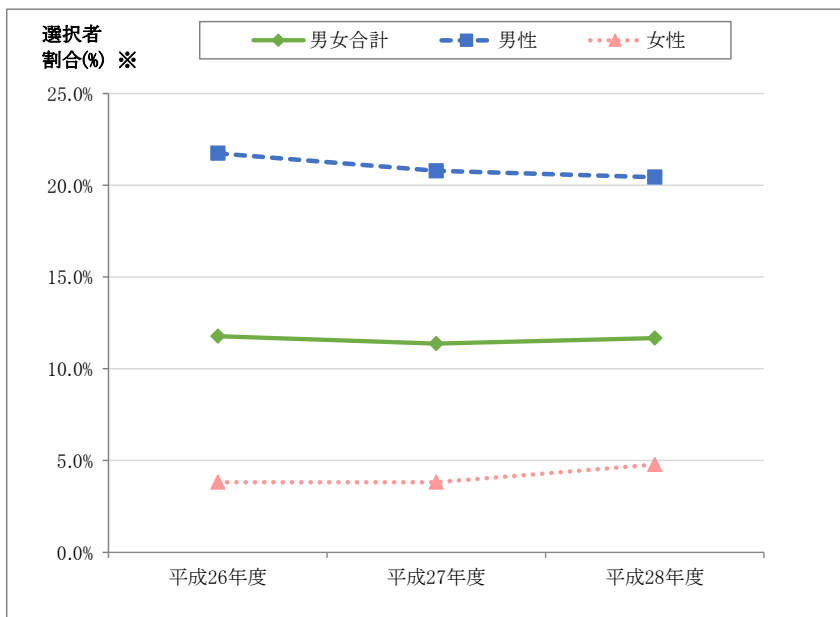
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	518	519	523
	選択者数(人) ※	61	59	61
	選択者割合(%) ※	11.8%	11.4%	11.7%
男性	質問回答者数(人) ※	230	231	230
	選択者数(人) ※	50	48	47
	選択者割合(%) ※	21.7%	20.8%	20.4%
女性	質問回答者数(人) ※	288	288	293
	選択者数(人) ※	11	11	14
	選択者割合(%) ※	3.8%	3.8%	4.8%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

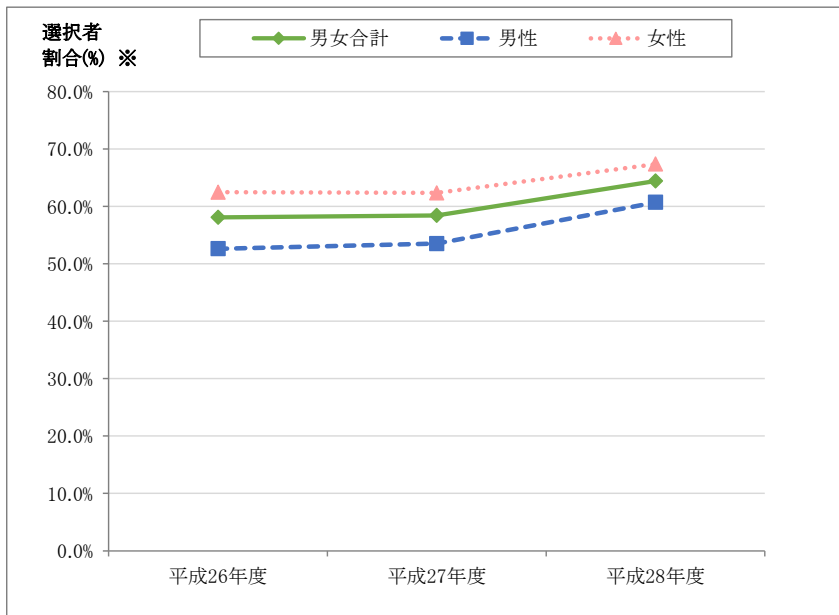
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	515	512	520
	選択者数(人) ※	299	299	335
	選択者割合(%) ※	58.1%	58.4%	64.4%
男性	質問回答者数(人) ※	230	228	229
	選択者数(人) ※	121	122	139
	選択者割合(%) ※	52.6%	53.5%	60.7%
女性	質問回答者数(人) ※	285	284	291
	選択者数(人) ※	178	177	196
	選択者割合(%) ※	62.5%	62.3%	67.4%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

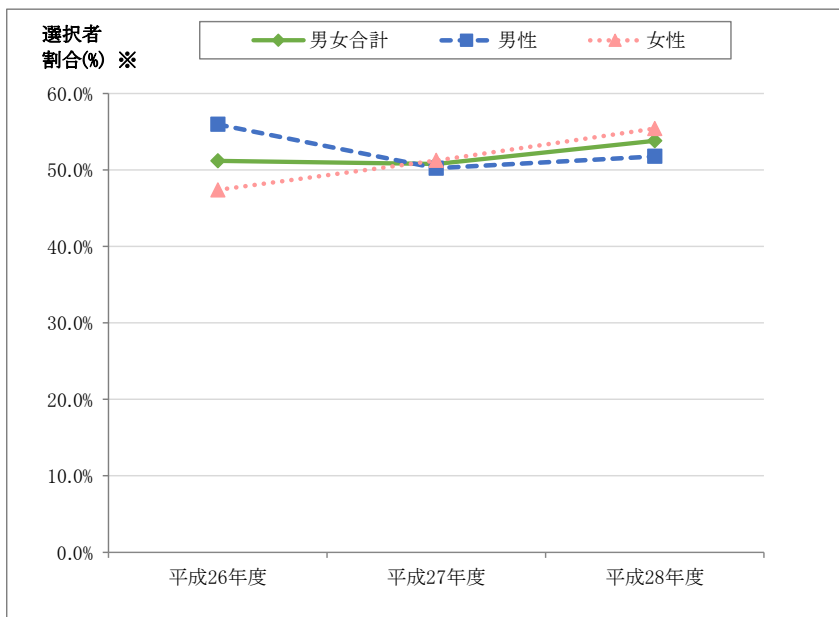
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	512	510	513
	選択者数(人) ※	262	259	276
	選択者割合(%) ※	51.2%	50.8%	53.8%
男性	質問回答者数(人) ※	227	227	226
	選択者数(人) ※	127	114	117
	選択者割合(%) ※	55.9%	50.2%	51.8%
女性	質問回答者数(人) ※	285	283	287
	選択者数(人) ※	135	145	159
	選択者割合(%) ※	47.4%	51.2%	55.4%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

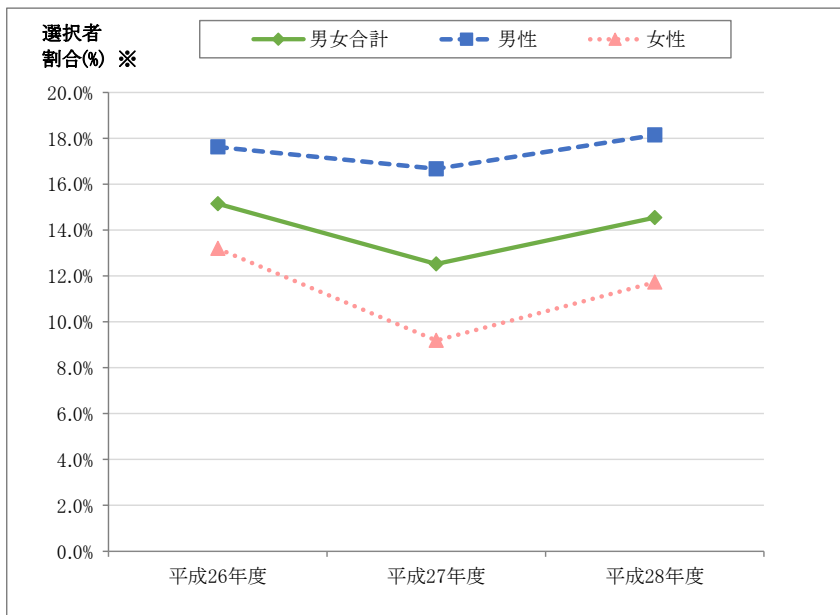
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	515	511	516
	選択者数(人) ※	78	64	75
	選択者割合(%) ※	15.1%	12.5%	14.5%
男性	質問回答者数(人) ※	227	228	226
	選択者数(人) ※	40	38	41
	選択者割合(%) ※	17.6%	16.7%	18.1%
女性	質問回答者数(人) ※	288	283	290
	選択者数(人) ※	38	26	34
	選択者割合(%) ※	13.2%	9.2%	11.7%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

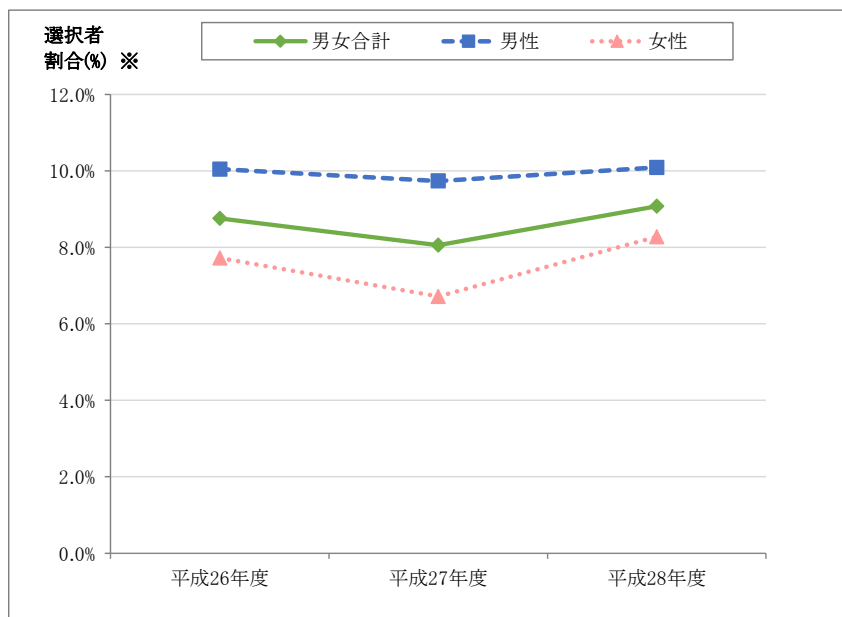
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	514	509	518
	選択者数(人) ※	45	41	47
	選択者割合(%) ※	8.8%	8.1%	9.1%
男性	質問回答者数(人) ※	229	226	228
	選択者数(人) ※	23	22	23
	選択者割合(%) ※	10.0%	9.7%	10.1%
女性	質問回答者数(人) ※	285	283	290
	選択者数(人) ※	22	19	24
	選択者割合(%) ※	7.7%	6.7%	8.3%

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

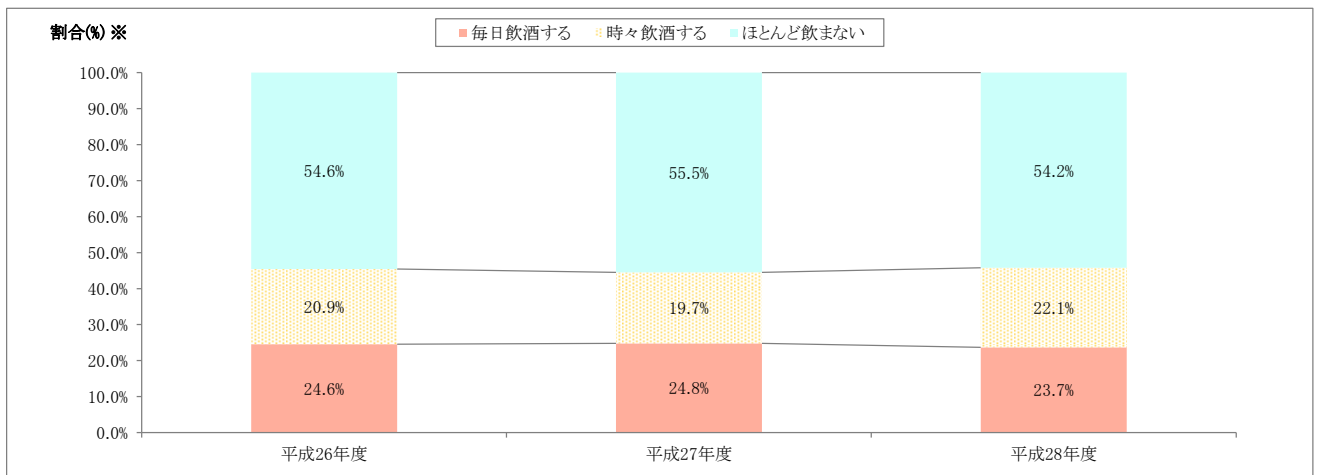
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

④ 飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	513	126	24.6%	107	20.9%	280	54.6%
平成27年度	508	126	24.8%	100	19.7%	282	55.5%
平成28年度	511	121	23.7%	113	22.1%	277	54.2%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

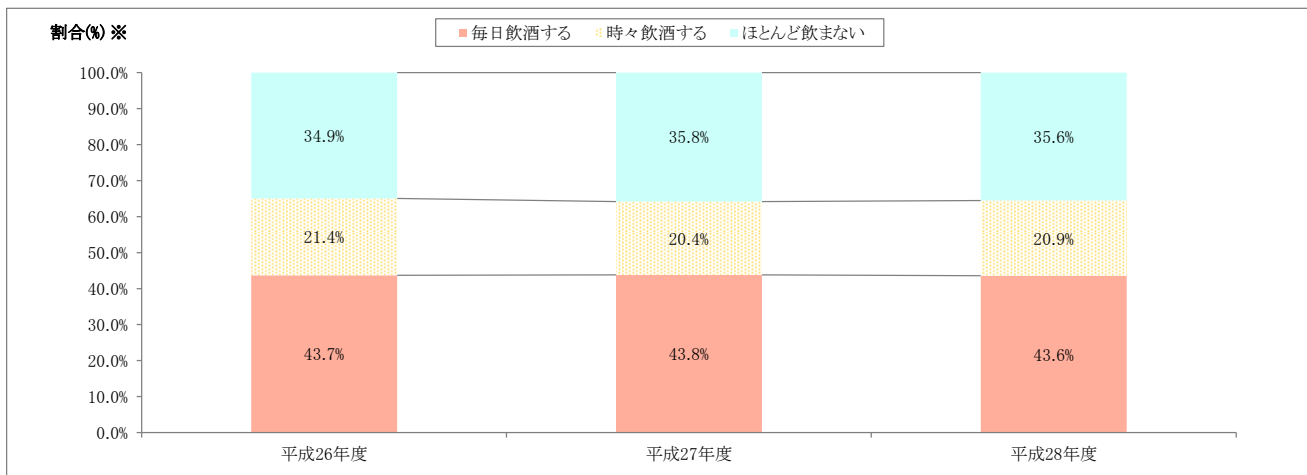
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	229	100	43.7%	49	21.4%	80	34.9%
平成27年度	226	99	43.8%	46	20.4%	81	35.8%
平成28年度	225	98	43.6%	47	20.9%	80	35.6%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

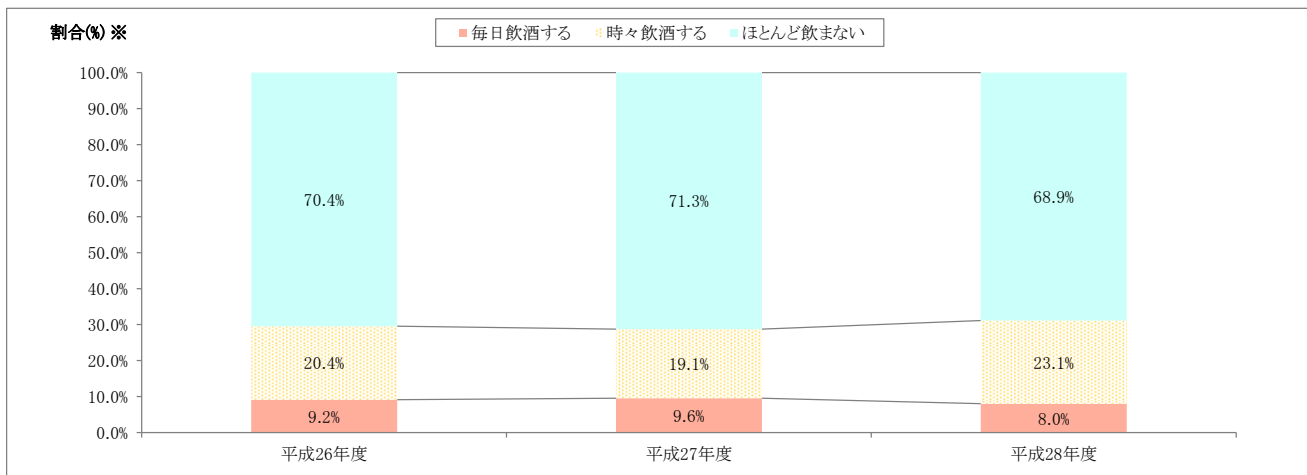
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	284	26	9.2%	58	20.4%	200	70.4%
平成27年度	282	27	9.6%	54	19.1%	201	71.3%
平成28年度	286	23	8.0%	66	23.1%	197	68.9%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

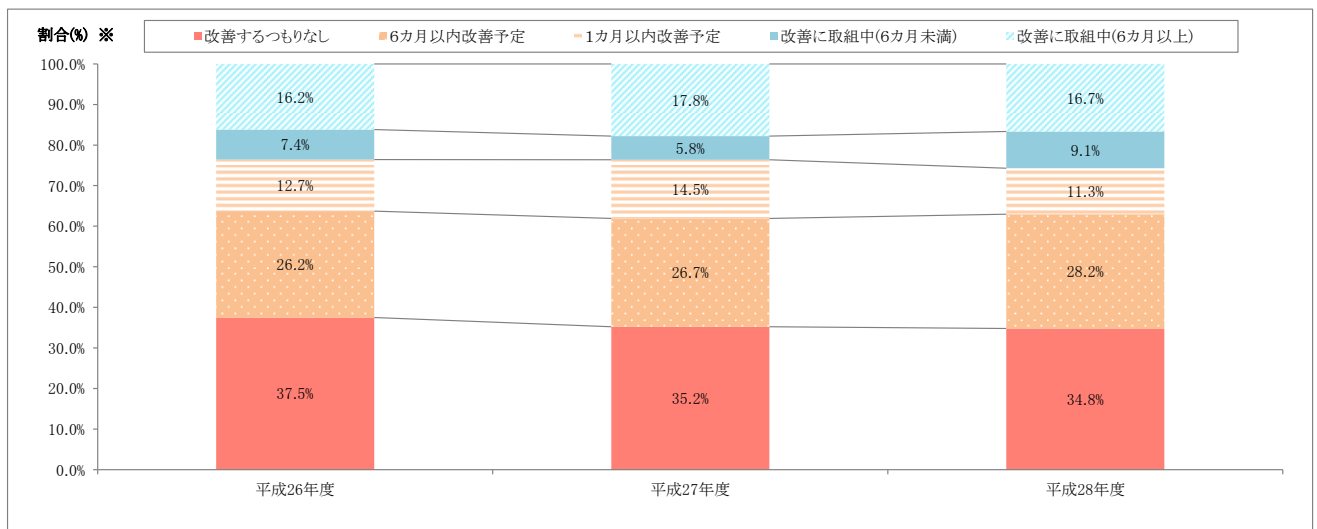
⑤生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	488	183	37.5%	128	26.2%	62	12.7%
平成27年度	483	170	35.2%	129	26.7%	70	14.5%
平成28年度	486	169	34.8%	137	28.2%	55	11.3%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	488	36	7.4%	79	16.2%
平成27年度	483	28	5.8%	86	17.8%
平成28年度	486	44	9.1%	81	16.7%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

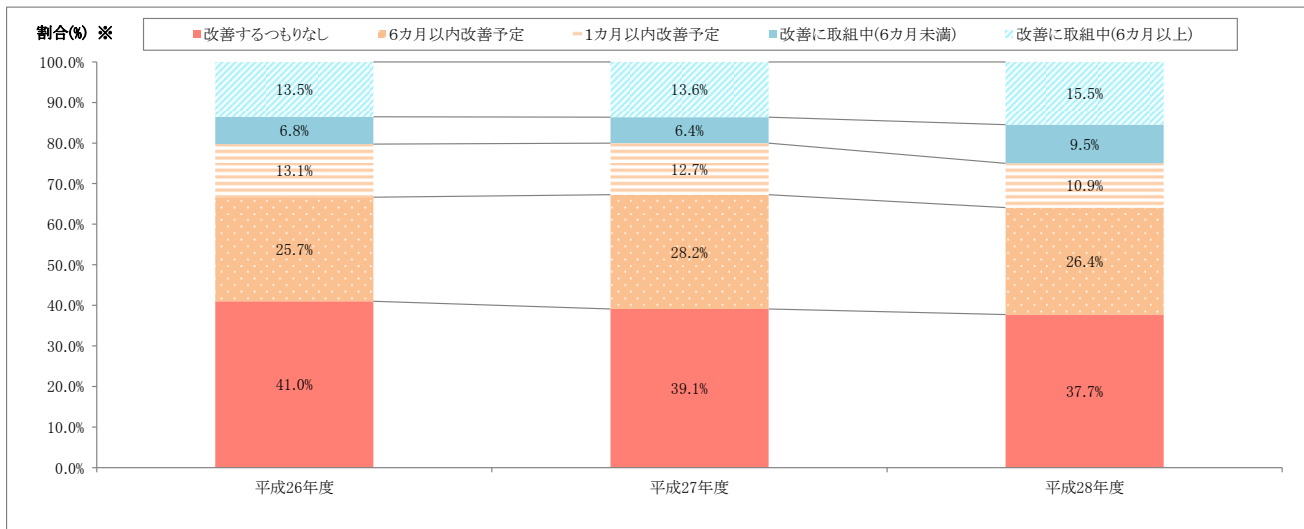
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	222	91	41.0%	57	25.7%	29	13.1%
平成27年度	220	86	39.1%	62	28.2%	28	12.7%
平成28年度	220	83	37.7%	58	26.4%	24	10.9%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	222	15	6.8%	30	13.5%
平成27年度	220	14	6.4%	30	13.6%
平成28年度	220	21	9.5%	34	15.5%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

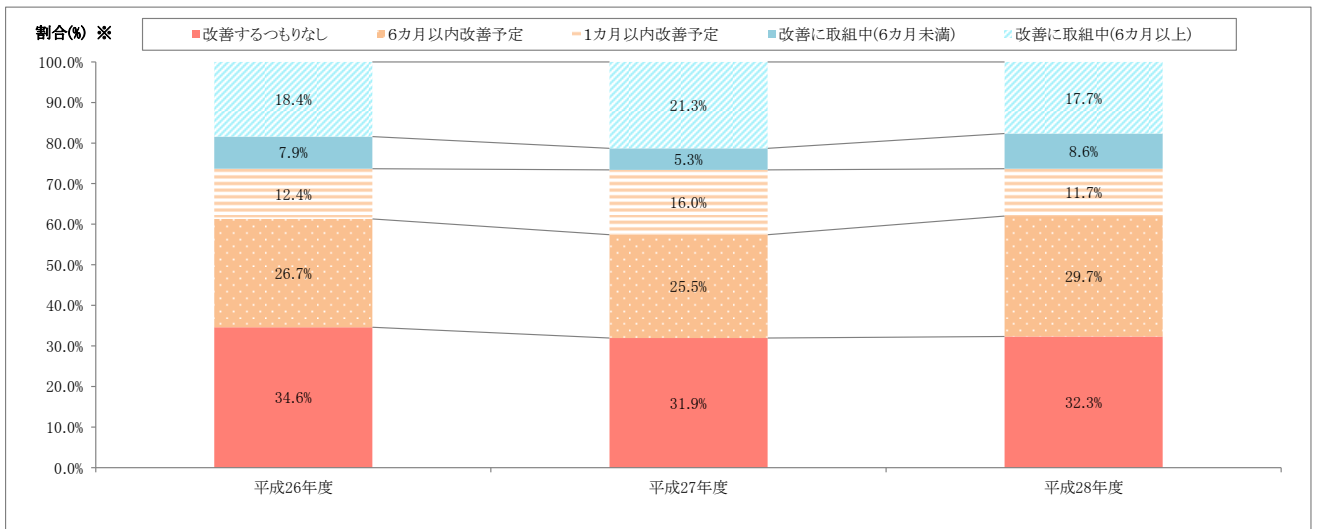
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	266	92	34.6%	71	26.7%	33	12.4%
平成27年度	263	84	31.9%	67	25.5%	42	16.0%
平成28年度	266	86	32.3%	79	29.7%	31	11.7%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	266	21	7.9%	49	18.4%
平成27年度	263	14	5.3%	56	21.3%
平成28年度	266	23	8.6%	47	17.7%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

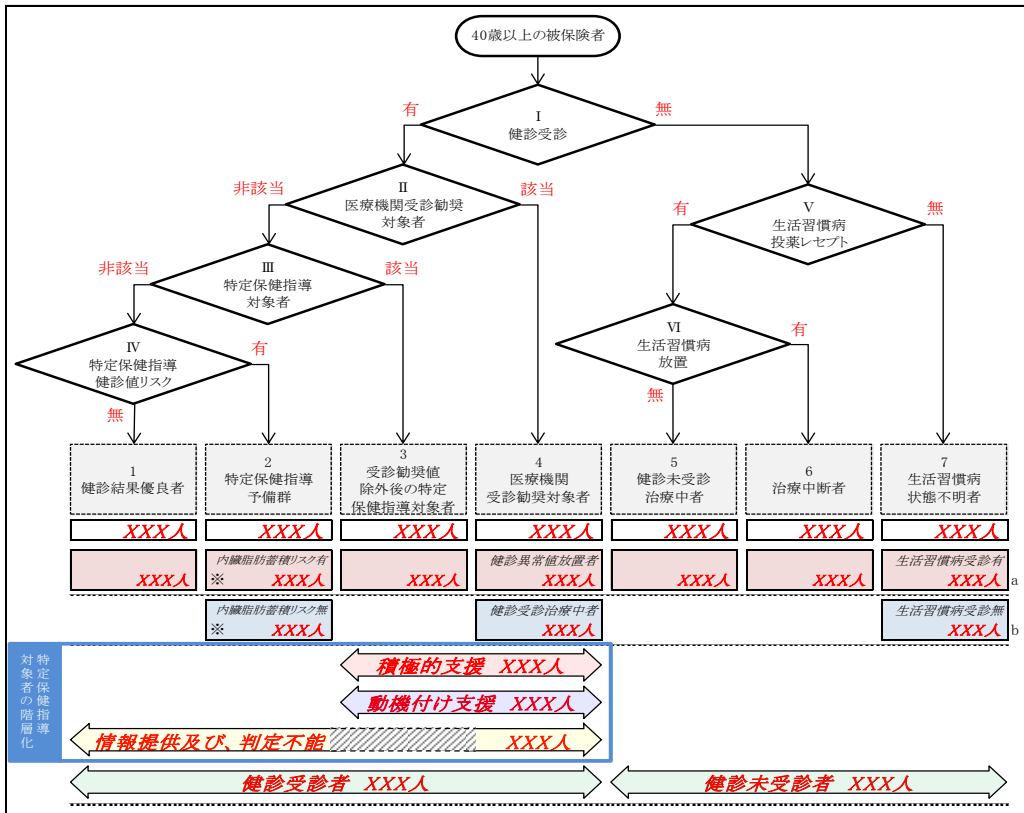
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク …厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者
 - 健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

	用語	説明
ア行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版) 準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	ストラクチャー	事業の構築、構造のこと 組織・体系の意味します。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
	プロセス	事業を行なう手順（過程）のこと。
マ行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わせたり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の續発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻疹後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他 ^の 新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の痙攣性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎□アルコール性のものを除く)	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変□アルコール性のものを除く)	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害 (脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		